

尾張旭市教育委員会（１月）定例会次第

日時 令和４年１月２６日（水）

午後２時００分

場所 市役所３階 講堂（２）

１ 開会のあいさつ

２ 前回会議録の承認について

３ 報告

別紙のとおり

４ 付議事件

(1) 第１号議案 学校長等の任命に関する内申について（資料当日配布）

(2) 第２号議案 尾張旭市文化財保護審議会委員の委嘱について

５ その他

６ 閉会のあいさつ

次回定例会

日時 令和４年２月１６日（水）午後２時

場所 市役所３階 講堂（２）

I 愛日地方教育事務協議会（令和4年1月11日（火） 於：小牧市役所）

1 開会のことば

2 あいさつ

3 協議事項

- （1）議事録署名人の選任
- （2）令和4年度主事会・事務協議会・管内校長会議開催予定表（案）について
- （3）令和4年度愛日地方教育事務協議会関係行事予定表（案）について
- （4）令和4年度愛日地方教育事務協議会歳入歳出予算（案）について
- （5）その他

4 報告・連絡事項

- （1）第3回学校教育推進委員会について
- （2）その他

5 その他

- （1）教育事務所からの連絡依頼事項
 - ・教育事務所長挨拶
 - ・教育事務所からの指導事項
 - ・教育事務所からの連絡・依頼事項
- （2）その他
 - ・分担金返納
 - ・教職員評価
 - ・情報交換

6 閉会のことば

Ⅱ 令和３年度愛知県都市教育長協議会総会（令和４年１月１３日（木） 於：ルブラ王山）

１ 総 会

(1) 会長あいさつ

(2) 議事

- 議案１ 令和３年度愛知県都市教育長協議会会務の報告について
- 議案２ 令和３年度愛知県都市教育長協議会歳入歳出中間決算について
- 議案３ 令和４年度愛知県都市教育長協議会事業計画（案）について
- 議案４ 令和４年度愛知県都市教育長協議会歳入歳出予算（案）について
- 議案５ 令和４年度愛知県都市教育長協議会役員について

(3) 報告

- ア 愛知県都市教育長協議会会員名簿について
- イ 総会及び研修会出席者について

２ 研 修 会

講師	愛知県教育委員会		教育管理監		稲垣 宏恭 様
			高校改革室	室 長	中島 幸一 様
			高等学校教育課	担当課長	橋本 具征 様
			教職員課	担当課長	大江 孝一 様
			義務教育課	課 長	伊藤 孝明 様
			生涯学習課	課長補佐	清水 貴子 様

３ 情報交歓会

尾張旭市教育委員会

(令和3年12月)

定例会会議録

尾張旭市教育委員会

尾張旭市教育委員会（12月）定例会会議録

1 日 時 令和3年12月22日（水） 午後2時00分

2 場 所 市役所3階 講堂（2）

3 出席者	教育長	河 村 晋
	委 員	山 本 真依子
	委 員	堀 祐 子
	委 員	伊 藤 智 成
	委 員	松 尾 功

4 出席職員	教育部長	三 浦 明
	管理指導主事	伊 藤 彰 浩
	教育政策課長	田 島 祥 三
	学校給食センター所長	松 原 友 雄
	生涯学習課長	坂 田 みどり
	図書館長	三 浦 明 美
	文化スポーツ課長	加 藤 剛
	指導主事	寺 田 泰次郎
	学校教育課長補佐	阪 良 子
	教育政策課係長	中 川 暢 顕
	教育政策課副主幹	稲 生 さより

5 傍 聴 者 2名

6 会議に付した事件

第24号議案 令和4年度教育委員会当初予算案に関する意見の申出について

	開 会 午後2時00分
教 育 長	本日の出席者は5名です。定足数に達しておりますので、ただいまから12月定例教育委員会を開催します。 今年も残すところあと10日余りとなりました。コロナ一色の年ではありましたが、それでも時は何事もなかったかのように過ぎていきました。 ウィズコロナ、アフターコロナと言われ、新しい時代に向けた動きが始まって来ているようにも思えます。当たり前となったマスクの着用、黙食、言葉を失ったかのような場面にも遭遇します。 私たちが目指す教育の姿は、人との触れ合いの中、育っていくといったスタイルが本来求めるところであります。子どもたちにとってはその場が学校であり、生涯学習の場として公民館などがあります。是非、触れ合いの場、特に子どもたちの居場所としての学校は、コロナ感染症対策をしながら、その役割を果たしていきたいと思います。 12月1日の水曜日には、市文化会館あさひのホールにおいて市政功労者表彰式が行われました。教育委員会関係では、今年度は、教育文化の振興に貢献された方の一般表彰として、社会教育委員の山本正治さん、図書館読み聞かせボランティアの宮澤貞枝さん、水野啓子さん、図書館ボランティアの伊藤徳治さん、感謝状として、教育委員会委員の山本真依子さん、公民館運営審議会委員の長谷川裕子さん、中道由美さん、地域婦人団体連絡協議会本地ヶ原支部長の永井加代美さん、東栄支部長の清水正枝さん、図書館読み聞かせボランティアの松井伸美さん、スポーツ推進委員の岡本啓子さん、空手道連盟会長の三浦一成さんが表彰されました。本市の発展に多大なる貢献をいただいた被表彰者の方々に感謝申し上げます。 また、11月19日の金曜日には、小中学校PTA連絡協議会の教育懇談会が開催されました。テーマは「つながる未来へ ～身近に取り組

	むSDGs～」と題して市長を交え懇談することが出来ました。子ども
	と一緒に身近なところから取り組んだ実践例も発表され、今できること
	は何だろうと考え方を新たに有意義な懇談が出来たと思います。
	それでは次第の2「前回会議録の承認について」に入ります。各委員
	は、11月定例会会議録について、訂正等がありましたらお願いします。
	(無しの声)
	無いようですので、11月定例会会議録は原案どおり承認します。会
	議録承認の署名を行う委員は堀委員を指名しますので、後ほどお願いし
	ます。
	次に、次第の3報告に入ります。事務局から報告をお願いします。
教 育 部 長	(資料に基づき説明)
	・12月議会について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
	他にご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
管 理 指 導 主 事	(資料に基づき説明)
	・12月校長会議等について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
教 育 政 策 課 長	(資料に基づき説明)
	・後援・推薦行事について
	・情報公開請求について
	・小中学校女子トイレでの生理用品無償配布の実施について
	・中学校海外研修事業の中止に伴う代替事業について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
	3の生理用品配布についてですが、これまでの保健室の配布に加えて、

	女子トイレに配布するということですか。女子トイレの一つの個室に設置とは、トイレのブース一つに設置ですか、それとも女子トイレ全体に一つ設置ですか。女子トイレの一つの個室に設置となれば、設置しているトイレの一つに誰かが入っていたら、使用することが出来ないのではないですか。実施の状況を踏まえて順次小学校にも設置とありますが、今の状況が分かれば教えていただきたいです。
教育政策課長	一つ目の質問、保健室の配布に加えて、女子トイレに配布するという質問ですが、女子トイレに配布した後も、保健室での配布も続けていきます。二つ目の質問、女子トイレの一つの個室に設置とはという質問ですが、女子トイレには個室が複数ありますが、そのうちの一つの個室に設置します。その一つの個室を使用中は使えないということになりますが、学校と調整をした結果一つの個室に設置する方が生徒たちにとって使用し易いということで決まりました。三つ目の質問、小学校の今後の進め方ですが、3中学校と設置方法を相談しまして、学校によっては個室の棚の上に置く場合や、壁に取り付けるなど学校の要望は様々ですが、3中学校の状況を示しまして、小学校でどの方法がいいのかを今後進めていきたいと考えています。
教 育 長	実際に使用している学校で一番分かっている人たちからの設置方法であるということですね。もし、困っていることがあれば、十分聞いてあげていただきたいです。
教 育 長	他にご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
指 導 主 事	(資料に基づき説明)
	・中学校の新制服導入について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
堀 委 員	新制服導入後も気候にあわせて、ジャージを使用していいということはありませんか。

指 導 主 事	一時的にジャージ可能な時期はありましたが、通常は制服着用となっています。
教 育 長	他にご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
生涯学習課長	(資料に基づき説明)
	・令和3年度第2回尾張旭市社会教育委員会の開催結果について
	・令和3年度尾張旭市小中学校PTA連絡協議会教育懇談会の開催結果について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
	1の社会教育委員会の開催結果についての3の議題等の(2)その他ですが、今後の予定についてとは何ですか。
生涯学習課長	今後の予定とは、社会教育委員の会議等の日程のことです。
教 育 長	色々助言を受けているみたいですので、助言に対してどのような形でしていけるのか次に生かせる形で動いていただきたいと思います。
	他にご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、次の報告をお願いします。
文化スポーツ課長	(資料に基づき説明)
	・令和3年度尾張旭市民文化祭実施結果について
	・令和3年度新春ふるさとカルタ会の開催方法の変更について
	・令和3年度どうだん亭秋の一般公開実績報告について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
	市民音楽祭についてですが、ライブビューイングを実施したということですが、生配信だけなのか、後で視聴することが出来るのか、もし生配信であれば、実際に何人の方が視聴されたのですか。
文化スポーツ課長	市民音楽祭は、生配信のみ行いました。実際に視聴された方は、約20人でした。

教 育 長	カルタ会ですが、現在35点くらい作品が集まっているということですが、今後の募集後にカルタを作る予定ですか。「あ」から「わ」まで約50くらいありますが、全て揃わない時や、沢山ある場合はどのように選びますか。
文化スポーツ課長	すぐにカルタを作ることは考えていません。今回は、参加していただき自身で作る楽しみを感じていただくということを主な目的としています。なお、今後カルタを作ることとした場合に、同じひらがなが沢山ある場合や足りない文字がある場合はどうするか等を含め、来年度以降の実施方法について考えていきたいと思っています。
教 育 長	他にご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、報告については終了いたします。次に次第の4付議事件に入ります。
	「第24号議案 令和4年度教育委員会当初予算案に関する意見の申出について」審議します。
教 育 部 長	(資料に基づき説明)
	・第24号議案 令和4年度教育委員会当初予算案に関する意見の申出について(各課説明 教育政策課→学校教育課→学校給食センター→生涯学習課→図書館→文化スポーツ課)
教 育 長	ただいま説明がありましたが、これに対してご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
松 尾 委 員	教育政策課の中学生海外研修事業ですが、通常の年であればどのくらいの予算なのでしょう。
教育政策課長	例年であれば、3中学校12名、引率者2名で約450万円の予算計上で、生徒につきましては自己負担があります。令和4年度の予算はオンライン交流実施と令和5年度実施のための、視察団派遣の費用も計上しています。
教 育 長	他にご意見・ご質問はございませんか。

[illegible]

1 月定例教育委員会報告

1 月定例教育委員会の報告事項について

前定例会から本定例会に至るまでの教育委員会の所掌事務について、裏面のとおり報告する。

令和4年1月26日提出

尾張旭市教育委員会

教育長 河 村 晋

報告事項一覧

機 関 等	件 名
教 育 部 長	
管 理 指 導 主 事	1 1 月校長会議等について（資料当日配布）
教 育 政 策 課	1 後援・推薦行事について
学 校 教 育 課	1 令和4年度全国学力・学習状況調査の参加について
学校給食センター	
生 涯 学 習 課	1 令和3年度第2回尾張旭市公民館運営審議会の開催結果について 2 令和4年尾張旭市新成人の集いの開催結果等について 3 第27回尾張旭市生涯学習フェスティバルについて 4 令和3年度尾張旭市公民館まつりの開催方法について
図 書 館	1 令和3年度第2回尾張旭市立図書館協議会の結果について
文化スポーツ課	
全 課	1 市議会における質問・提案事項の進捗状況について 2 教育振興基本計画の進行管理（令和3年12月）について

1 1月校長会議等について

1 1月校長会議

(1) 教育長

- 2年間の新型コロナウイルス感染症、学校教育の継続のため事前対策を
- 令和の教育の推進 学校のペーパーレス化
- 令和4年度 35人学級は小学校4年生まで
- 不登校の急増 学年継続率が高い

(2) 教育部長

- 市議会12月定例会個人質問について
- 交通事故について
- 中学生海外研修事業の中止に伴う代替事業の実施について
- 吉永一貴選手オリンピック出場に向けた応援事業について

2 学校の様子

- 年が明け市内における新型コロナウイルス感染症の感染者数が急速に拡大しており、特に小中学校での確認が増加している。学級・学年閉鎖、さらに臨時休校の措置をとり、感染拡大防止等の対策を講じている。しかしながら、この状況は改善されず今後の学校運営に支障をきたさないようにしていかなければならない。
- こうした状況ではあるが、中学校での進路相談など行わなければならず、各校でその対応に追われている状況である。
- この先、卒業式等も控え、改善に向かうことを期待している。

1 後援・推薦行事について

令和3年度受付分

No	区分	催物名	会場	実施日	行事概要・趣旨	申請団体名等
40	後援	第36回尾張旭市青少年健全育成推進大会	尾張旭市文化会館	令和4年1月22日(土)	表彰式や発表を行い、青少年の健全育成と非行防止について認識を高めるとともに、広く市民に理解と協力を呼びかけ、青少年健全育成活動の促進を図る。	尾張旭市青少年健全育成推進会議 会長 松原 弘道
41	後援	清流王国郡上・春休みこどもキャンプ	郡上市内	令和4年3月26日(土)から4月5日(火)まで	郡上の地域資源(自然・文化・人)を生かした、郡上ならではの自然体験を提供し、都市の子どもたちと郡上の子どもたちが一緒に、農山漁村において2泊3日のフリーキャンプを行う。	特定非営利活動法人 メタセコイアの森の仲間たち 代表理事 永吉 剛
42	後援	教育講演会「7カ国語で話そう。」	オンライン開催	令和4年3月19日(土)	自分の育った環境を通じて得たもの、感じてきたものを広く一般の方に聞いてもらいながら、言葉を育てあえる環境が身近にあることで自分の世界が広がり、人間形成にどのような影響があったのかを広く一般の方と考える機会を提供する。	一般財団法人言語交流研究所ヒップファミリークラブ 代表理事 鈴木 堅史

43	後援	2021年度愛知県アンサンブルコンテスト (高等学校の部)	尾張旭市文化会館	令和4年1月29日 (土)	各学校の吹奏楽部の日頃の練習の成果を発表する機会を与え、部活動の活性化及び、地域の音楽文化の発展に寄与する。	愛知県高等学校吹奏楽連盟 理事長 伊藤 宏樹
44	後援	朝日新聞「親子で作文・スクラップ教室」	尾張旭市東部市民センター	令和4年2月19日 (土)	2020年度からの教育改革を受けて、これからの社会で求められる「読解力」「情報処理力」「表現力」の3つの力を鍛えるために、実際に新聞を活用しながら作文や記事のスクラップに親子で取り組んでもらい、3つの力を鍛える上で新聞がとても良い教材であることを知ってもらうことを目的とする。	朝日新聞名古屋本社販売部 販売部長 藤中 剛
45	後援	第39回全日本少年(中学)軟式野球大会 尾張旭・瀬戸・長久手地区大会	城山球場	令和4年3月5日 (土) から 3月13日 (日) まで	軟式野球の普及と健全で明るい市民生活の向上に寄与するため、尾張旭・瀬戸・長久手地区の公立中学校野球部によるトーナメント大会を開催する。	尾張旭市軟式野球連盟 支部長 加藤 仁亜貴

許可件数6件(後援6件)

新規団体は番号の下に下線

1 令和4年度全国学力・学習状況調査の参加について

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

原則として小学校6年生の全児童及び中学校3年生の全生徒を対象とする。

3 調査事項

(1) 教科に関する調査

小学校調査は、国語、算数、理科。中学校調査は、国語、数学、理科。

(2) 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。

4 調査実施日

令和4年4月19日（火）

1 令和3年度第2回尾張旭市公民館運営審議会の開催結果について

1 開催日時

令和3年12月15日（水）午後2時～午後3時

2 開催場所

中央公民館 1階 102会議室

3 議題等

(1) 報告事項

ア 令和3年度公民館事業実施状況について

イ 令和4年度公民館事業実施計画（案）について

- ・働いている人のために夜間講座を増やすことも検討して欲しい。
- ・公民館の高速通信回線の利用方法について質問があり、部屋を借りている利用者が窓口に申請することで利用可能とする予定であることを回答。

ウ 新型コロナウイルス対策の取り組みについて

令和3年度公民館事業実施状況、令和4年度公民館事業実施計画及び新型コロナウイルス対策の取り組みについて報告

(2) その他

ア コミュニティセンター宮浦会館の移管後の位置付けについて

社会教育や生涯学習活動、地域活動の場として、社会教育法に基づく公民館として位置づけ、名称を「宮浦公民館」とする。

イ 公民館まつりについて

公民館まつり実行委員会（令和3年12月2日開催）の報告

○ その他の意見等

温式便座シャワートイレへの改修の要望

2 令和4年尾張旭市新成人の集い開催結果等について

1 尾張旭市令和4年新成人の集い対象者及び出席状況

開催日：令和4年1月9日（日）

区 分		対象者 A	出席人数 B	出席率 (B/A)=C	前年 対象者 D	前年 出席人数 E	前年 出席率 (E/D)=F	対前年比 出席人数 B-E	対前年比 % C-F
旭中学校区 (旭中学校体育館)	計	347	272	78.4%	339	252	74.3%	20	4.0%
東中学校区 (東中学校体育館)	計	299	229	76.6%	294	217	73.8%	12	2.8%
西中学校区 (西中学校体育館)	計	270	227	84.1%	252	195	77.4%	32	6.7%
市全体	計	916	728	79.5%	885	664	75.0%	64	4.5%

○新型コロナウイルス感染防止対策として、以下の取り組みを実施しました。

【3密を防ぐ】

3中学校区とも会場を中学校体育館とし、参加者同士の間隔確保 マスク常時着用
ドアを常時開放し換気を確保 案内状に連絡先・検温確認欄を追加
着座での企画(恩師等のビデオメッセージ)の実施

【時間を短縮】

来賓の大幅縮小 立食パーティーの中止

【意識を高める】

職員による啓発ビブスの着用 式典後の会食等についての注意喚起

2 尾張旭市新成人の集い対象者及び出席状況の推移

年	対象者	出席者	出席率	備 考
	計(A)	計(B)	(B)／(A)	
H 1	1,203	856	71.2%	
H 2	1,204	860	71.4%	
H 3	1,211	983	81.2%	最多参加者
H 4	1,305	967	74.1%	
H 5	1,333	949	71.2%	最多対象者
H 6	1,249	954	76.4%	
H 7	1,215	940	77.4%	
H 8	1,112	813	73.1%	
H 9	1,113	771	69.3%	
H 10	1,015	673	66.3%	
H 11	1,024	744	72.7%	3会場に分割
H 12	930	717	77.1%	
H 13	889	676	76.0%	
H 14	871	641	73.6%	
H 15	907	697	76.8%	
H 16	849	663	78.1%	
H 17	885	703	79.4%	3連休中日開催
H 18	894	699	78.2%	
H 19	774	616	79.6%	
H 20	839	658	78.4%	
H 21	782	648	82.9%	
H 22	772	632	81.9%	
H 23	772	640	82.9%	
H 24	778	644	82.8%	
H 25	786	624	79.4%	
H 26	774	616	79.6%	
H 27	841	692	82.3%	
H 28	747	624	83.5%	過去最高出席率
H 29	825	672	81.5%	
H 30	867	717	82.7%	
H 31	889	716	80.5%	
R 2	912	728	79.8%	
R 3	885	664	75.0%	新型コロナ対策
R 4	916	728	79.5%	新型コロナ対策

3 令和5年以降の成人式について

令和4年4月1日の成年年齢18歳引き下げ後は、下記のとおりとする。

(1) 名称

「尾張旭市二十歳の集い」 （おわりあさひしはたちのつどい）

(2) 対象者

当該年度に20歳になる者を対象とする。（令和元年10月公表済み）

(3) 実施方法

新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、会場を公共施設等に戻すことを検討する。

(4) 18歳成人に対する啓発

- ・ 広報尾張あさひによる周知（令和4年3月1日号に特集記事）
- ・ 市ホームページによる周知

3 第27回尾張旭市生涯学習フェスティバルについて

1 趣旨

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、熱心に活動を行っている市民に日頃の生涯学習の成果を発表する場を提供する。また、尾張旭市において、受け継がれている楽しく学び続ける生涯学習のバトンを絶やさず、繋げていくための啓発と参加へ向けたきっかけづくりとして生涯学習フェスティバルを開催する。

2 主催

第27回尾張旭市生涯学習フェスティバル実行委員会、尾張旭市、尾張旭市教育委員会

3 開催期間

令和4年2月12日（土）から3月21日（月・祝）までの38日間

4 開催場所

中央公民館、地区公民館、文化会館、図書館、どうだん亭、スカイワードあさひ 等

5 協力団体

スカイワードあさひ星の会、尾張旭市地域婦人団体連絡協議会、愛知消費者協会尾東支部尾張旭班、尾張旭市国際交流会、文化協会、公民館まつり実行委員会、ふるさとガイド旭、尾張旭市少年少女発明クラブ、文化会館指定管理者、体育施設指定管理者、スカイワードあさひ指定管理者 計11団体

6 予定事業等

第27回尾張旭市生涯学習フェスティバル総合PRチラシ（別紙）のとおり

7 新型コロナウイルス感染予防対策

- ・一度に人が集まらないよう期間を延長し実施する。
- ・実施団体等に対し、体温計測機、手指消毒用アルコール、アクリル板などの貸出しを行う。
- ・インターネットを活用したオンライン事業を積極的に取り入れる。
- ・感染状況を注視し、状況によって予防啓発・開催方法等の再検討等を行う。

第27回
尾張旭市

笑顔のわたし、みい〜つけた!

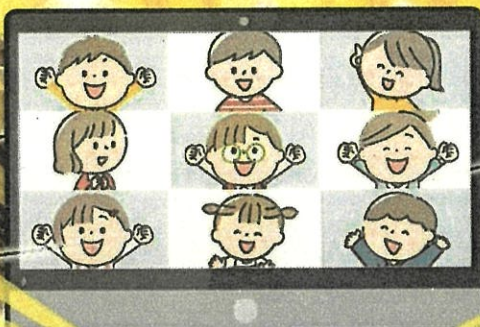


生涯学習フェスティバル

2022 2/12(土)・3/21(月・祝)

9つの公民館がネットにつながる! ネットでつながった公民館のみんなとゲームをしよう!
時には競い合い、時には協力して、楽しく学びながら、オンラインツールにふれてみませんか?

オンライン
中継



2/13

日

13:30~15:00

オープニングイベント

公民館はわく★宝島!

参加無料

クイズで ゲームで ネットで つながる仲間

ところ 市内9公民館
(中央・瑞鳳・三郷・藤池・平子・本地原・白鳳・旭丘・渋川)

内容 ①ネット! みんながつながるゲーム
9公民館を中継し、クイズやゲームを通して、交流します。

②ナゾ解き! 宝探しゲーム
9公民館で協力してナゾを解き、隠されたお宝を探しだそう!

対象者 市内在住の小学1~6年生とその保護者
※1~3年生は保護者の同伴が必要です。
(弟妹など対象学年以外のお子さんも参加できます。)

定員 各公民館10組20人(計90組180人)

申し込み
方法

- ①1月17日(月)~31日(月)に右記二次元コードを読み取り
必要事項を入力し送信
- ②電話(土・日曜日を除く午前8時30分~午後5時15分)
※定員を超えた場合は、抽選となります。

【インターネット入力フォーム】
スマートフォンで読み取り、
リンク先から入力(24時間OK)



申し込み・問い合わせ先 中央公民館内生涯学習課生涯学習係 ☎0561-76-8181 詳しくはコチラ! [尾張旭市 生涯学習](#) 検索

Withコロナ!
予防対策を
続けましょう!



主 催: 第27回尾張旭市生涯学習フェスティバル実行委員会/尾張旭市/尾張旭市教育委員会



生涯学習フェスティバル イベントスケジュール

すべて「あさひ健康マイスター」のチャレンジ対象事業です

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業



確し/お問い合わせ先	開催日	開催場所	内容等	参加方法 参加広報
オープニングイベント 公民館はわくわく宝島! ～ワイスでゲームでネットをつなげる仲間～ 生涯学習課生涯学習係 76-8181	2月13日(日) 13:30～15:00	中央・ 各地区公民館	①ネットでみんながつながるゲーム ②ナゾ解き! 宝探しゲーム 各公民館をオンラインで中継し、みんなで協力して ミニゲームや宝探しを行います。	要申込み 1/15号広報
スカイワードあさひ天体観望会 太陽観望会 生涯学習課生涯学習係 76-8181	期間中の火・土・日曜・祝日 ①10:00～12:00 ②13:00～15:00	スカイワード あさひ	天体観望室のHα太陽専用望遠鏡で、燃える太陽を 観よう!	入場自由
オンラインスポーツ教室 体育施設指定管理者 54-2733	期間中随時配信	インターネット	指定管理者(ハマダスポーツ企画(株))によるオンラ インスポーツ教室を開催し、ワンポイントアドバイ スを実施します。	参加自由 2/1号広報
スカイワードあさひ星の会 天体写真展 生涯学習課生涯学習係 76-8181	①2月13日(日)～20日(日)正午 ②2月21日(月)～3月6日(日)15:00	①中央公民館 ②イトーヨーカドー 尾張旭店	スカイワードあさひ星の会のみなさんが、美しい星を 求めて日本各地で撮影した天体写真を展示します。	入場自由
インターナショナルクッキング 尾張旭国際交流会 080-5128-3807(山田)	2月13日(日) 10:00～13:30	新池交流館 ふらっと	台湾の本格家庭料理(前菜、主食、デザート)を作り ます。	要申込み 1/15号広報
スカイワードあさひ天体観望会 夜間天体観望会 生涯学習課生涯学習係 76-8181	2月13日、20日、27日 18:30～19:30 3月6日、13日、20日 19:00～20:00 全て日曜日	スカイワード あさひ	天体観望室の50cm望遠鏡で、天体観望をしよう!	入場自由
尾張旭市婦人団体連絡協議会 貯筋トレーニング～筋肉を貯める体操～ 相羽 かよ子 53-7393	2月17日(木) 10:00～12:00	多世代交流館 いきいき	筋肉を貯める体操を通して、健康増進を図ります。	要申込み 2/1号広報
大人ののためのおはなし会 図書館 54-5544	2月18日(金) 10:00～11:00	文化会館 あさひのホール	ボランティアによる文芸作品の朗読	入場自由 2/15号広報
親子天体教室 プラネタリウムをつくろう! 生涯学習課生涯学習係 76-8181	2月19日(土) 13:00～15:00	スカイワード あさひ	ボランティアさんと一緒に、工作キットを使ったプラ ネタリウムを作ってみよう!	要申込み 2/1号広報
救命講習定期開催 消防署救急係 51-0885	2月20日(日) 9:00～11:00(2時間)	ほんまる	・応急手当の重要性 ・成人に対する心肺蘇生法 ・大出血時の手当を学びます。	要申込み 2/1号広報
舞踊部発表会 太田 かつ子 0561-54-5461	2月20日(日) 12:00開場 12:30開演	文化会館 ホール	文化協会舞踊部に所属する団体による民謡や日舞 などの発表会を開催します。	入場自由 2/1号広報
第37回公民館まつり ①作品展示の部 ②舞台発表の部 生涯学習課公民館係 54-5300	①2月21日(月)～ 4月10日(日) ②3月20日(日)～ 21日(月・祝)	①中央公民館 ②文化会館	公民館で活動する団体・サークルの作品展示と舞台 発表	入場自由
ふるさとガイド旭 研究成果発表会 文化スポーツ課文化振興係 0561-53-1144	2月24日(木) 9:30～12:00	中央公民館	1『小牧・長久手の戦い』と尾張旭の城館 2 尾張旭市南部における『白山林の戦い』あれこれ 3 稲葉出身の戦国武将「毛受勝助」の実像を探る	要申込み 2/1号広報
公民館講座「スマホでZoom体験」 生涯学習課公民館係 54-5300	2月24日(木) 13:30～15:00	中央公民館	オンライン会議システム「Zoom」の参加方法につ いて学びます。	要申込み 2/1号広報
企画展「陶芸家・星合信令と交通安全観音」 文化スポーツ課文化振興係 0561-53-1144	2月25日(金)～ 令和5年1月31日(火)	スカイワード あさひ	昭和40年に全国へ交通安全祈願の観音像を寄贈し たことで知られる本市の陶芸家・星合信令氏の作品 を展示し解説します。	入場自由 2/15号広報
どうだん亭ひな人形展 文化スポーツ課文化振興係 0561-53-1144	2月25日(金)～ 2月27日(日) 10:00～15:00	どうだん亭	市民寄贈の明治・大正・昭和のひな人形を展示	入場自由 2/15号広報
消費生活講座 産業課庶務係 76-8185	2月25日(金) 13:30～14:30	中央公民館	手口を学び消費者トラブルに巻き込まれないための 知識を習得します。	要申込み 2/1号広報
オンライン男女共同参画講座 「自分らしく生きるためのライフプラン」 多様性推進課男女共同参画係 76-8125	2月26日(土) 10:30～12:00	インターネット	女性の働き方と社会保険・税金の知識、人生にかか るお金やライフプランの作成方法を学びます。	要申込み 2/1号広報
オンライン発明クラブ 生涯学習課生涯学習係 76-8181	2月27日(日) 10:00～11:00	インターネット	おうちでものづくり体験! 発明クラブ指導員さんと Zoomを使って楽しい実験やものづくりをしよう	要申込み 2/1号広報
防災イベント 文化会館指定管理者 54-8500	2月27日(日) 14:00～15:30	文化会館 ホール	落語と談話で防災を考える	要申込み 2/1号広報
ふるさとガイド旭 新居の史跡をめぐるブラ歩き 文化スポーツ課文化振興係 0561-53-1144	3月5日(土) 9:00～11:30	文化会館正面玄関 (集合場所)	古道(巡見道・殿様街道)をたどり、城館跡や寺社を 訪ねながら、かつての新居村の面影を感じ取って みませんか(約6.1km)	要申込み 2/1号広報
第21回GROUPE14e展覧会 スカイワードあさひ 52-1850	3月9日(水)～ 3月15日(火) 10:00～17:00	スカイワード あさひ	昭和41年度旭丘高校美術科卒業生による絵画・彫 刻などの展覧会	入場自由
ニュースポーツフェスティバル 文化スポーツ課スポーツ係 0561-76-8183	3月19日(土) 10:00～12:00	総合体育館	スポーツ推進委員と一緒に数種類のニュースポーツ を一度に体験できます。	入場自由 3/1号広報
市民囲碁大会 水谷 成造 090-1230-9501	3月20日(日) 9:00～17:00	中央公民館	囲碁のトーナメント戦	要申込み 2/15号広報
令和3年度健康朝食メニュー展示 秘書課健康都市推進室 76-8101	①3月18日(木)～3月19日(金) は日を除く ②3月16日(水)～3月30日(水)	①尾張旭市役所 ②イトーヨーカドー 尾張旭店	令和3年度健康朝食メニューの応募作品の中から選 ばれた優秀作品を展示します。(市長賞や教育長賞 はししを配布予定)	入場自由 3/1号広報

4 令和3年度尾張旭市公民館まつりの開催方法について

1 目的

公民館で学習に取り組む社会教育関連団体の成果を発表することにより、生涯学習のきっかけづくりの場を提供し、もって生涯学習の推進を図ることを目的とする。

2 主催

尾張旭市公民館まつり実行委員会、尾張旭市、尾張旭市教育委員会

3 開催日時

(1) 作品展示部門

期間：令和4年2月21日（月）から4月10日（日）まで

会場：中央公民館展示ロビー

方法：各団体7日間のリレー展示方式（2団体ごと）

(2) 舞台発表部門

期間：令和4年3月20日（日）から3月21日（月・祝）まで

会場：文化会館ホール

方法：両日とも午前にリハーサル、午後発表

4 参加団体

各公民館等で活動する社会教育関連団体等

5 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 作品展示部門

- ・来場者に連絡先等を記入した用紙を回収箱へ投函するよう依頼する。
- ・密にならないよう啓発ポスター掲示をするとともに、定期的に巡回し声掛けを行う。

(2) 舞台発表部門

- ・発表団体は、発熱・体調不良等の確認を行い、舞台発表時以外はマスク着用、舞台袖の消毒アルコールで手指の消毒を徹底する。
- ・発表の順番待ちの際に、密にならないように待機場所を確保する。
- ・定期的に大きな声を出さない、マスク着用などをアナウンスする。
- ・来場者に連絡先等を記入した用紙を回収箱へ投函するよう依頼する。

1 令和3年度第2回尾張旭市立図書館協議会の結果について

1 開催日時

令和3年12月21日（火）午後3時～4時

2 開催場所

尾張旭市立図書館 2階 視聴覚室

3 議題等

(1) 報告事項

新型コロナウイルス感染防止対策の取組について

図書館事業の取組状況を、令和元年度以前（感染症の拡大する以前）、令和2・3年度及び令和4年度以降に三分して報告し、情報共有を図った。

(2) 議題

ア 令和3年度事業実施状況について

イ 令和4年度事業実施計画（案）について

ウ 「尾張旭市子ども読書活動推進計画（改訂2版）」（案）について

平成29年度に策定した「尾張旭市子ども読書活動推進計画（改訂版）」は、令和3年度が計画の5年目に当たり、読書活動を更に推進し、子どもの心を豊かに育むため、一連の取組やアンケート調査から得た成果を踏まえて見直しを行う。

(3) その他

今後の予定について

1 市議会における質問・提案事項の進捗状況について

○令和3年9月議会時点
○「現状」欄の凡例
対応完了、軌道化、模索中、実施困難、その他

課名	質問時期	質問議員	質問・提案事項	答弁概要	現状報告 (R3.11)	
					現状	選択理由
教育政策課	R2.6	早川八郎	新型コロナ対策としての防災と熱中症と三密の対策について	小中学校の体育館は、学校施設全体としての空調設備を検討することとなり、特別教室等との調整も必要だが、避難所に指定されていることも考慮しながら、検討していく。	模索中	過去に検討業務実績のある市町などから情報収集を実施し、導入方法等の検討を進めています。
	R2.6	市原誠二	保護者連絡アプリの検討状況について	「保護者との連絡手段」としての保護者アプリの導入について、事業者からシステムの説明を受け、研究を進めている。併せて、「欠席報告」など双方向のやり取りが、負担が少なく実現できるシステムについて、研究していく。	対応完了	令和3年10月から、①学校・教育委員会からの連絡配信、②児童生徒の欠席連絡、③緊急連絡、④アンケートの機能を備えた保護者連絡システムを導入しました。
	R2.12	櫻井直樹	今後の地域未来塾について	新たな事業者により事業を再開したところで、現時点では事業を拡大していくまでに至っていない状況だが、他に本事業の実施を希望する団体等があったら、継続的に安定して実施できるのか総合的に判断し、検討していきたい。	模索中	参加者の増加と、現在の実施場所が市東部であることなどから、将来的には市中央部・西部で拡充を検討する必要があると考えています。事業実施を希望する団体等がありましたら、状況を聞き取り、継続的に安定して実施できるのか総合的に判断する必要があると考えています。
	R3.3	櫻井直樹	小中学校体育館の空調設備について	学校の特別教室への空調設備設置は、大規模改造工事に優先して設置を進めていく。学校の体育館は、授業や部活動以外に学校開放や「指定避難所」でもあり、空調設置の必要性が高いため、今後、総合的に検討していく。	模索中	【特別教室・軌道化】 特別教室の空調設備設置は、中学校3校は令和3年度に設計業務完了予定、令和4年度に施工予定です。また、小学校9校は、令和4年度に設計予定、令和5年度以降に施工予定です。 【体育館・模索中】 過去に検討業務実績のある市町などから情報収集を実施し、導入方法等の検討を進めています。
	R3.6	安田吉宏	小中学校のプールの大規模改修について	学校プールの改修は、小中学校プール施設維持保全・管理方針を定め、計画的な改修に努めている。プールの建築後の年数も経過していることから、今後、大規模改修や建替えも視野に入れて考えていく。	模索中	漏水や錆水等のトラブルが生じているため、日常の修繕を実施して、今後の大規模改修や建替えも視野に入れ、検討を進める予定です。
	R3.9	丸山幸子	小中学校の女子個室トイレへの生理用品設置について	女子個室トイレへの生理用品の設置は、設置場所の確保、衛生面、補充に課題がある。緊急の新型コロナ対策として、R3年度事業として進めているが、今後の取組みについても検討する。	軌道化	生理用品を購入することが困難なときや、忘れてしまったときなど、困ったときに気軽に利用できるよう、保健室での生理用品の配布に加え、女子トイレに生理用品を設置するため、準備を進めています。

課名	質問時期	質問議員	質問・提案事項	答弁概要	現状報告 (R3.11)	
					現状	選択理由
学校教育課	R2.9	秋田さとし	豪雨時の登下校について	近年、集中豪雨での災害が各地で起きており、本市でも心配な状況があったことから、各学校と対応方法を検討する。	対応完了	各学校ごとに災害の状況を注視しながら、登下校の時間を柔軟に変更するなど、対応ができるようにしています。 特に、中学校区ごとに連絡を取り合い、保護者や子どもたちが混乱しないように心がけています。
	R2.9	谷口武司	デジタル教材などデジタルコンテンツの内容と決定時期について	追加のデジタル教材については、教員で組織するICT委員会の意見を参考に審査の上、導入を検討する。	対応完了	ICT委員会や各校からの要望を受けて、必要な教材等を導入するように進めています。
	R2.9	谷口武司	オンライン授業の課題について	教員が独自に動画を作成し、配信する一方的な配信に限らず、双方向など、取り組み内容の研究をする。	軌道化	教員用と児童生徒用タブレット端末に導入されているアプリを活用して、オンライン授業の実証実験を進めています。
	R3.3	芦原美佳子	GIGAスクール構想の推進について	1人1台端末について、家庭学習や不登校の児童生徒への学習支援の活用などに取り組んでいく。	軌道化	教員用と児童生徒用タブレット端末に導入されているアプリを活用して、オンライン授業の実証実験を進めています。
	R3.3	芦原美佳子	中学校の制服について	東中学校が先行して見直しを進めており、令和4年度から新しい制服への移行を目指している。他の中学校についても同一年度に導入は難しいものの、前向きに取り組んでいくよう依頼していく。	軌道化	東中学校の令和4年度の導入に続き、旭中学校・西中学校も令和5年度からの新制服の導入に向けて準備を進めています。
	R3.3	秋田さとし	タブレットを持ち帰り家庭学習に使用することについて	タブレットを活用した家庭学習が円滑に実施されるよう、適切に準備を進めていく。	軌道化	各校で持ち帰りの検証については完了しています。 今後は、適切な課題を検討をして、順次進めている状況になっています。
	R3.3	秋田さとし	中学生の制服について	東中学校では、ブレザースタイルを導入し、令和4年度には新しい制服となる予定。 他の2つの中学校にも、制服の見直しを前向きに進めていくよう依頼をしていく。	軌道化	東中学校の令和4年度の導入に続き、旭中学校・西中学校も令和5年度からの新制服の導入に向けて準備を進めています。
	R3.6	丸山幸子	教育研究室内の名称変更について	教育研究室自体の名称を変更する予定はないが、相談する人にとって、窓口であることが分かりやすいこと、親しみやすいことは、必要なことでもあるので、相談事業の窓口が分かりやすく親しみやすい名称となるよう、検討する。	模索中	より良い名称について、検討中です。
	R3.9	櫻井直樹	小学校部活動の民間委託について	民間委託は現在のところ考えていないが、教員から部活動の業務を切り離しても教育上の効果を継続できるような仕組みを検討する。また、指導者の確保として、地域の人材や市の団体、市内の大学等の人材を活用していくことを目指す。	軌道化	小学校部活動については、順次移行することができるよう地域の人材などを活用して指導者を確保し、教員の業務から切り離していくことを目指し、まずは外部講師の拡充を進めています。
	R3.9	櫻井直樹	部活動指導員、部活動外部講師の派遣拡充について	中学校における文部科学省の方針や小学校の部活動を教員の業務から切り離すという方向性のもと、部活動指導員や部活動外部講師についても拡充を検討する。	軌道化	現在も部活動指導員や外部講師の配置をしており、さらなる増員や指導時間の増加のために、人材の確保に努めています。

課名	質問 時期	質問議員	質問・提案事項	答弁概要	現状報告（R3.11）	
					現状	選択理由
学校給食センター	R3.3	安田吉宏	牛乳以外の食べ残しについて	【再質問に対する答弁】 給食センターでの食育事業や学校での食育指導、給食だよりなどを通して食べ残しが減少するよう取り組んでいく。	軌道化	給食センターでの食育事業や学校での食育指導、給食だよりなどを通して食べ残しの現状を伝え、給食への関心を高める工夫をしています。また、食べ残しが減少するよう、もう一口食べるように呼び掛けています。
	R3.3	安田吉宏	学校給食の栄養について	給食では1日に必要とされる栄養の3分の1を摂取できるよう考えられている。食べ残しなどにより栄養の不足が心配される。食育事業や食育指導を通して食べ残しが少なくなるよう指導していく。	軌道化	1日に必要とされる栄養の3分の1を摂取できる給食の提供を行っています。給食センターでの食育事業や学校での食育指導、給食だよりなどを通して食べ残しの現状を伝え、給食への関心を高める工夫をしています。また、食べ残しが減少するよう、もう一口食べるように呼び掛けています。
	R3.3	安田吉宏	今後の学校給食について	魅力ある給食を提供するため、給食だよりなどを活用して、児童生徒の好きな献立を調査する。	軌道化	給食だよりを活用して児童生徒の好きな献立の調査し、集計結果を基に献立を作成し、順次提供していく予定です。また、児童生徒の考えた献立を募集し、魅力ある新メニューを増やしていく予定です。
生涯学習課	R3.3	秋田さとし	「新成人の集い」における周知啓発について	【再質問に対する答弁】 出席者に配布する手提げバッグに同封するリーフレットの一部を整理し、新成人に手に取ってもらいやすい方法を検討する。また、デジタル機器を活用する方法についても、検討を進める。	軌道化	令和5年の二十歳の集いに向け、プログラムに二次元コードを記載する情報提供方法を検討するよう各課に働きかけを行っています。対応可能なものについては、令和4年の式典から移行を進めます。
	R3.3	秋田さとし	令和4年の「新成人の集い」について	令和4年新成人の集いについても、令和3年新成人の集いと同様に、できる限りの感染防止対策を実施した上で開催していきたい。	軌道化	令和4年新成人の集いについても、令和3年同様の感染防止対策を実施し、式典を開催するよう準備を進めています。
図書館	R2.12	芦原美佳子	図書館におけるデジタル化について	今後のデジタル化は、まず新聞記事のデータベース化の導入を検討する。	対応完了	令和3年10月の図書館システムの更新に伴い、データベース閲覧用パソコンを新設し、中日新聞・日本経済新聞、官報のデータベースを導入しました。
	R2.12	芦原美佳子	電子図書館サービスの導入について	従来の紙媒体の図書と電子図書のサービスの両立、著作権の問題、限られた予算内での電子図書館サービスシステム化への対応等の課題を踏まえ、新しい生活様式に対応した公共図書館のあり方について検討する。	模索中	庁内職員を構成員とした「図書館のあり方検討会」にて、将来の本市図書館の方向性について検討を進めています。
	R2.12	日比野和雄	尾張旭市子ども読書活動推進計画のコロナ禍をふまえた次期計画について	尾張旭市子ども読書活動推進計画は、令和3年度に見直しをする予定。見直しに当たっては、成果や課題、国や県の動向を整理し、コロナ禍における新たな生活様式の中での情勢等を踏まえ、計画を策定するよう検討する。	軌道化	現在進行中の「尾張旭市子ども読書活動推進計画（改訂版）」を見直し、改訂2版を策定中です。
	R3.3	櫻井直樹	市立図書館の新築計画について	「公共施設等総合管理計画」の「個別施設計画」の内容を踏まえて今後の予定を検討する。その前に「図書館のあり方」について市職員による検討を進める。	模索中	施設の老朽化により必要に応じて修繕を実施しています。また、今後も適切な施設管理に努めます。

課名	質問 時期	質問議員	質問・提案事項	答弁概要	現状報告（R3.11）	
					現状	選択理由
文化 ス ポ ー ツ 課	R2.6	早川八郎	新型コロナ対策としての防災と熱中症と三密の対策について	総合体育館については、空調設備を直ぐに整備することは難しいため、様々な方法を検討していきたい。一方、小中学校の体育館については、避難所に指定されていることも考慮しながら、優先順位を付けながら検討していきたい。	模索中	総合体育館の空調機整備については、現況調査に基づく工事の優先付けを行った結果、コストを把握する程度の評価に留まったところ。 ※小中学校は、教育政策課回答のとおり。
	R2.12	安田吉宏	市内出身で活躍するスポーツ選手について	（市内出身選手の）市役所ロビー等での写真パネル展示、市主催のスポーツイベントへのゲスト出場、選手名を冠した大会の開催などが考えられる。いずれにしても、所属団体の許可が必要なので、実現できるよう調整を進める。	軌道化	プロスポーツ選手のゲスト出場は叶わなかったものの、プロスポーツチームによる教室を企画・開催しました。 次年度以降も、引き続き開催できるよう関係者と調整中です。
	R3.3	櫻井直樹	総合体育館と市民プールの新築計画について	「総合体育館のエアコン設置」を検討していく必要があり、「公共施設等総合管理計画」の「個別施設計画」の内容を踏まえて、今後の予定を検討していく。その際、「施設の長寿命化」も視野に入れ、適切な維持管理に努める。	模索中	総合体育館の空調機整備については、現況調査に基づく工事の優先付けを行った結果、コストを把握する程度の評価に留まったところ。 今後は、施設の利用率等も考慮した施設のあり方を検討するとともに、長寿命化を含めた適切な施設管理に努めます。
	R2.6	谷口武司	新居城址石碑の設置検討について	現時点で、「新居城址」の石碑を設置する予定はないが、「新居城址」ということが分かるよう、南側駐車場側からの上り口に、矢印案内など簡易で分かりやすい看板の設置を検討する。	対応完了	南側駐車場側からの登り口に矢印案内を設置しました。
	R2.6	谷口武司	文化財のフィールドワーク教育への活用について	学芸員と学校との連携を深め、出張授業やカリキュラムに合わせた資料作成・相談などを進めていく。また、古民具の貸し出しや、子どもたちが見学しやすい時期の展示、歴史民俗フロアを起点とした城山公園周辺の文化財を知ってもらえるような仕組みづくりを検討する。	軌道化	収蔵庫にある貸出可能な民具のリストを作成し、小中学校に配布したほか、「尾張旭ふるさとカルタ」の解説書を作成し、小中学校に配布し、授業などで活用しました。 また、小中学校が印場大塚古墳・どうだん亭の見学を行った際、学芸員が解説を行いました。 スカイワードあさひ歴史民俗フロアでは、城山古窯の常設展示を新設しました。
	R2.6	谷口武司	新居城の堀跡と土塁跡の文化財指定について	新居城の市の文化財指定については、今後の調査等により、指定することがふさわしいか否か検討する。	模索中	今後の調査等により、指定することがふさわしいか否かを検討します。
	R2.9	日比野和雄	収蔵庫の資料公開の更なる拡大について	学校との連携について、今後は、学芸員を中心として当時の代表的な民具を選定し、その利用方法や時代背景などを記載したマニュアルを作成し、学校に貸し出しを行うなど収蔵庫にある資料を有効に活用することを検討する。	軌道化	収蔵庫にある貸出可能な民具のリストを作成し、小中学校に配布しました。 今後は、民具リストを授業等で活用していただくことが課題と考えています。
	R3.6	日比野和雄	無形民俗文化財の認知度向上の推進について	今後、更なる認知度の向上のために、特に若い世代に対して働きかけていくことが大切であり、小学校での保存会の出張講座等で、より多くの子どもや保護者が興味を持ち、参加したいと思えるような環境づくりに努める。	軌道化	保存会が学校で出張講座を開催して欲しい時に使う「出張講座提案シート」、学校が保存会に対して出張講座を依頼するときに使う「出張講座依頼シート」の2種類の様式を新たに作成中です。 市役所は、保存会と学校の橋渡しを行い、今までなかった仕組みを作ることで、出張講座開催のハードルが下がるものと考えています。
	R3.9	安田吉宏	警固祭りの今後の取組について	市民祭警固をR4年度に繰越すことは考えていないが、新たな披露・発表等の場を設ける等、引き続き、保存会の活動、後継者育成を積極的に支援する。また、市ホームページでの過去の警固の様子の紹介や、市役所ロビーでのパネル展示等により周知啓発を図る。	軌道化	令和3年9月に、市役所ロビーにて無形民俗文化財に関するパネル展示を実施し、その中で警固について紹介するコーナーを設置しました。 また、市ホームページに過去の警固の様子を紹介するページを作成し、公開しました。

2 教育振興基本計画の進行管理(令和3年12月)について

基本施策1 豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

基本事業	個別事業	概要	担当課	令和3年度状況
(1)道徳性・社会性の向上	道徳教育の充実	・教科化された道徳の時間の理念や趣旨である、子どもたちがいじめの問題への対応等、現実の困難な問題に主体的に対処することができるよう授業改善を行い、道徳の時間を要し、学校の教育活動全体を通して、生命を大切にすることや思いやり、規範意識等の道徳性を高める教育を推進します。	学校教育課	・各校で道徳の授業の校内研修を実施し、児童生徒が主体的に考え議論し、道徳的実践力が身につくような授業改善を行った。また、小中学校教諭を対象に道徳の授業に関する研修会を実施し、授業改善を図った。
		・集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動などの体験活動を生かして豊かな心を育みます。	学校教育課	・野外活動(泊を伴わない場合も含む)を実施したり校内の取組へのボランティアの参加を呼びかけたりし、自己肯定感や充実感を感じられる豊かな心づくりを推進した。
		・道徳講演会や道徳授業公開、地域の先生の招へい授業などを行い、地域の人々との交流を通して、地域と一体になった道徳教育を推進します。	学校教育課	・道徳講演会や道徳授業公開、地域の先生の招へい授業などを実施するなど、道徳教育を重視した教育活動を感染症対策を講じた上で、可能な範囲で進めた。
		・児童会・生徒会の自発的・自治的な活動を通して、児童生徒のボランティアや勤労の精神を培います。	学校教育課	・児童会・生徒会の自発的・自治的な活動を通して、ボランティアや勤労の精神を培った。
		・あさびスマイルあいさつ運動を児童生徒会活動や地域の活動と連携させ、地域・家庭・学校での好ましい人間関係の確立を図ります。	学校教育課	・児童会や生徒会を中心に、地域の方などと連携して、あいさつ運動を行い、好ましい人間関係づくりを進めた。
	人権教育の推進	・児童生徒の発達段階や実態に即して、各教科や領域など、学校教育全体を通して人権を尊重する教育を推進します。	学校教育課	・児童生徒の発達段階や実態に即して、各教科や領域など、学校教育全体を通して人権を尊重する教育を推進した。
		・教職員の研修を計画的に実施し、人権教育に対する理解と意識の向上を図ります。	学校教育課	・いじめやネットモラルなどについての指導について、感染症対策を講じた上で可能な範囲で研修会を実施した。
		・人権擁護委員や社会福祉協議会などの連携を図り、地域とともに人権教育を進めます。	学校教育課	・地区の人権擁護委員による出前授業やCAPプログラムの授業を実施した。
		・男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、その個性と能力を十分に発揮できる心や態度の育成を図ります。	学校教育課	・男女がその個性を性別によらずに発揮できるように、本年度採用の教員を対象に男女共同参画に関する研修を実施した。
	いじめ・不登校対策の充実	(共通) ・対人関係にまつわる学校不適応の傾向を把握する検査を「心の発達サポート検査」として実施し、指導に生かします。	学校教育課	・中学校1・2年生で実施し、変化する生徒の状況や生徒の特性を生徒指導や学級経営に生かすとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等と連携し不登校の未然防止に活用した。
		・教職員への研修を通して、資質の向上を図り、いじめの未然防止や不登校対策に努めます。	学校教育課	・尾張旭市いじめ防止基本方針を基に、各校の基本方針の見直しを行い、夏季休業中にSNSを使ったいじめについての研修会を実施した。 ・教員による「いじめ不登校対策委員会」を開催し、各校の取り組みを共有するなどし、対策を進めた。
		・いじめ不登校対策委員会を中心に一人一人の児童生徒にとって心の居場所となるような魅力ある学校づくりに努めます。	学校教育課	・いじめ不登校対策委員会を中心に一人一人の児童生徒にとって心の居場所となるような魅力ある学校づくりに努めるとともに、自己肯定感が高まるような指導や取り組みを進めるように啓発した。
		・スクールカウンセラーや心のアドバイザーやスクールソーシャルワーカーを活用し、具体的な悩みや問題に応え、専門的な立場から適切な助言を行い、児童生徒の心のケアに努めます。	学校教育課	・スクールカウンセラーや心のアドバイザー、スクールソーシャルワーカーを活用し、具体的な悩みや問題に応え、専門的な立場から適切な助言を行い、児童生徒の心のケアに努めた。
		・児童生徒の日常的な悩みの相談や話し相手として、各学校に子どもと親の相談員や心の教室相談員を配置し、いじめや不登校等を未然に防止する体制を整えます。	学校教育課	・児童生徒に対するいじめ・不登校の防止対策として、気軽に相談できる相談窓口を設け、早期対応に努めた。
		(いじめ対策) ・いじめ防止対策推進法の目的や基本理念を達成するよう、市・教育委員会・学校等のいじめ防止等に関する機関等により構成される、「尾張旭市いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、いじめの防止等の連携を図ります。	学校教育課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から紙面開催とし、各委員から意見をもらった。

(1)道徳性・社会性の向上	いじめ・不登校対策の充実	いじめの防止等のための対策を実効的に行うため、教育委員会に、専門的な知識及び経験を有する第三者で構成する附属機関の「尾張旭市いじめ問題専門委員会」を設置し、いじめ防止等のための施策に関する調査研究を行うとともに、重大事態に係る調査を行う必要が生じた場合に調査を行います。	学校教育課	・いじめについて、法律上のいじめの定義により積極的に認知し、組織で対応するように周知した。 ・尾張旭市いじめ問題専門委員会を開催した。
		・全児童生徒を対象にいじめ実態調査を実施するなど、児童生徒一人一人の心の様子を把握するために定期的にアンケート調査を行います。	学校教育課	・全児童生徒を対象にいじめ実態調査を実施するなど、児童生徒一人一人の心の様子を把握するために定期的にアンケート調査を行った。また、「いじめ問題専門委員会」からの助言を受け、実態調査の内容についてさらに見直しをし、いじめについての実態把握に努めた。
		・いじめ・不登校対策委員会の事業を通して、家庭・地域への啓発に取り組むとともに、家庭と学校が緊密な連携を図り、いじめの早期発見・解決や未然防止に取り組めます。	学校教育課	・いじめ不登校対策委員会による「いふだより」などで保護者への啓発活動を行うとともに、スクールソーシャルワーカーを配置し、不登校・いじめ事案で関係機関と連携して学校や家庭支援を行い、事案の解決を図った。
		・心の教育推進活動や人権週間を通して、共感できる力や思いやりの心を育てます。	学校教育課	・これまでの研究を生かし、人権教育を推進するとともに、12月を人権月間と位置づけ、各小中学校において人権に関する意識啓発に継続的に取り組んだ。
		(不登校対策) ・適応指導教室「つくしんぼ」を活用し、心理的・情緒的な理由による不登校児童生徒を対象に、集団活動への適応を促し、学校への復帰を目指します。	学校教育課	・適応指導教室において、児童生徒に対して、学校復帰に向けた指導と居場所づくりの取組を継続して実施した。
		・教育に理解と熱意を有する大学生等を不登校児童の家庭にメンタルフレンドとして派遣し、よき相談者の立場から接し、児童生徒の社会性の向上を図るよう支援します。	学校教育課	・適応指導教室に通室ができない不登校児童生徒の家庭にメンタルフレンドを派遣し、社会性の向上を図るよう支援した。
		・不登校児童生徒への情操教育として定期的な乗馬体験を行います。	学校教育課	・不登校児童生徒への情操教育として、定期的に乗馬体験を実施した。
(2)健康教育の推進	体力の向上と健康の増進	・健やかな心身の育成を図るため、体力テストの結果や学校保健会がまとめた発育と健康状態から、児童生徒の実態把握に努め、分析結果を指導に生かします。	学校教育課	・小学校5年生と6年生、中学生全員が体力テストを実施し、実態把握をするともに、分析結果を日々の指導に生かした。 ・発育と健康状態から、各校の健康に関わる課題を分析し、保健だよりで啓発を行った。
		・専門的な技術や指導力を備えた講師の登録制度を導入するなどマンパワーの確保を図り、部活動の活性化に努めます。	学校教育課	・専門的な指導を受けることができるよう、部活動の指導に外部からの人材を活用するとともに、顧問として指導ができる部活動指導員を配置した。
		・規則正しい生活習慣の確立を図るため、早起きを推奨し、あいさつ運動を行います。	学校教育課	・各小中学校において、生活習慣を振り返る健康週間を実施し、意識付けを行った。また、児童会や生徒会を中心にあいさつ運動を行った。
(3)食育の推進	栄養バランスのとれた学校給食の提供	・児童生徒の心身の健全な発達に役立ち、食に関する正しい知識や食生活の習慣を身につけるよう、安全・安心で栄養価に優れたバランスの良い学校給食を継続的に提供します。	学校給食センター	・衛生管理を徹底し、安全・安心な給食を提供することで、児童生徒に食に関する正しい理解と適切な判断を促した。 ・栄養バランスに優れた献立を工夫し、新メニューを提供した。
		・引き続き安全・安心なアレルギー対応給食の提供を行うとともに、乳及び卵以外のアレルギー対応給食の検討を行います。	学校給食センター	・就学時アレルギー対応説明会を開催した。 ・卵、乳のアレルギー対応給食(一律対応)の提供をした。 ・乳アレルギー以外の飲用牛乳摂取困難者に対して、飲用牛乳の代替食として調製豆乳を提供した。 ・毎月2回副食から食物の7大アレルゲン除去した給食「あさびースマイル給食」を提供した。 ・尾張旭市立小中学校食物アレルギー対応検討会議委員として会議へ参加した。
	食育の推進	・学校給食センターを活用して、試食会、親子料理教室、給食献立コンテストなどを通し食に対する意識の醸成を図ります。	学校教育課 学校給食センター	【学校教育課】 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて各小中学校を栄養教諭が巡回し、食育の授業を行った。 【学校給食センター】 ・学校給食に対する理解を深めるため、施設見学、試食会、親子料理教室、給食センター探検ツアー、給食献立募集を実施した。

(3)食育の推進	食育の推進	・大学教授等を招いて、食育講演会を実施するとともに、各学校に講師や栄養職員を派遣し、食育に関する学びの場を提供します。	学校教育課 学校給食センター	【学校教育課】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からふれあい給食を実施できなかった。 【学校給食センター】 ・食に関する学びの場を設け、正しい知識の普及につなげるため、アレルギー専門医による食育推進講演会の開催及び栄養教諭の学校派遣を実施した。
		・地元でとれた食材を積極的に学校給食の献立に取り入れ、地産地消を推進します。また、市内小学校の児童と地元生産者が給食と一緒に食べるふれあい給食を実施します。	学校教育課 学校給食センター	【学校教育課】 ・学校給食センターの見学を行い、調理の様子や残食の処理の様子を知ること、食に対する意識を向上させた。 【学校給食センター】 ・児童生徒が地元農産物と給食への理解を深められるよう、地元でとれた食材を多く活用した「愛知を食べる学校給食の日」、「愛知の秋の味覚週間」、「全国学校給食週間」を実施した。 ・ふれあい給食について、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、事前に生産者へ取材を行い、その映像を各クラスで放映した。
		・朝ごはんメニューコンテスト等を通し、健康的な食生活習慣を身につけさせます。	学校教育課	・朝ごはんメニューコンテストを実施し、朝ごはんの大切さや家族で食事をするなどの意義の啓発を行った。

基本施策2 良好な環境の中で確かな学力を育む教育の推進

基本事業	個別事業	概要	担当課	令和3年度状況
(1)確かな学力の育成	基礎的・基本的な知識・技能の定着	・基本的な学び方の定着を必須とし、各校の重点指導目標として取り組みます。	学校教育課	・各校において重点指導目標に学習スタンダードの定着など学習規律の向上を設定し、校内研修によって教職員の共通理解を図った。
		・児童生徒の発達段階や特性を把握し、学習内容の系統性や指導方法などを吟味することで分かる授業が行えるよう市の教科等研究員を活用した授業研究などに取り組みます。	学校教育課	・各校の研究授業に教科等研究員や指導主事を派遣し、学習内容や指導方法について研究協議を行い、授業力の向上に取り組んだ。
	思考力・判断力・表現力の育成	・各教科等の授業で、体験から感じ取れたことを表現したり、情報を分析・評価し論述したりするような言語活動を充実させます。	学校教育課	・各教科の授業で体験的な活動を感染状況に応じて可能な範囲で取り入れ、その経験をもとに児童生徒が感じ取ったことを発表したり記述したりする活動に取り組ませた。
		・「主体的・対話的で深い学び」を創造して、学校教育における質の高い学びを実現するために、授業研究など研修を行い、教員の授業力の向上に努めます。	学校教育課	・児童生徒に対して、主体的・対話的で深い学びとなる授業を実施できるよう、各教科等についての研修を新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて可能な範囲で実施した。
(2)現代的な課題に対応した教育の推進	情報教育の充実	・ICT機器を利用し、情報を適切に活用できる力を高めます。	学校教育課	・児童生徒用タブレットの中に導入されている授業支援アプリを活用して授業で情報共有等を行えるようにした。
		・各小中学校の学年に応じて、情報通信技術の役割や影響を理解させ、情報モラルについての確かな判断ができる能力を育成します。	学校教育課	・タブレットの使い方については、使用前に使い方のお約束という文書を用いて全児童生徒に対しての指導を行った。また、教育活動全般を通して、適宜情報モラル教育を実施した。
		・電子教科書など時代に応じた教材を用いた指導を行います。	学校教育課	・デジタル教科書を小学校の社会科に試験的に導入し、資料等をタブレット端末を用いて閲覧できるようにした。
		・情報活用能力を学習の基盤となる資質・能力と位置付け、論理的に考えていく力を育成するため、プログラミング教育を実施します。	学校教育課	・プログラミング教育を実施できるアプリを活用して、児童生徒一人一人がプログラミングができるようにした。
	国際理解教育の推進	・小学生は、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、加えて高学年において「読むこと」、「書くこと」を総合的・系統的に扱い、中学生は、英語による実践的なコミュニケーション能力を高めることができるよう、各小中学校にALTを派遣し、ネイティブスピーカーによる英会話指導等を行います。	学校教育課	・各小中学校へALTを派遣し、英語の音声や表現に慣れ親しむ活動や児童生徒と英語によるコミュニケーション活動を行った。
		・外国の自然や文化に直接触れ、国際的視野に立つて主体的に行動できる人材育成の機会として、中学生を対象とした海外研修事業を実施します。	教育政策課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年度は実施できなかったが、代替事業として動画配信とメッセージカードを送付した。

(2)現代的な課題に対応した教育の推進	環境教育の推進	・ごみゼロ運動など、地域の清掃活動への参加を促し、環境教育の推進を図ります。	学校教育課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年度は実施できなかった。
		・ごみの分別収集やリサイクル、省エネルギー、節電など環境についての意識の向上を図ります。	学校教育課	・各小中学校において、給食時の牛乳パックのリサイクルやごみの分別に取り組むとともに、節電に取り組んだ。
		・避難所となる学校施設に太陽光発電の設備を整備し、非常時の電源確保を図るとともに環境教育に役立てます。	教育政策課	・小中学校8校に公共施設の屋根貸し事業により設置された太陽光発電設備を活用し、再生可能エネルギーに関する環境教育に役立てた。
	キャリア教育の推進	・社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成します。	学校教育課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年度は実施できなかった。
		・市商工会と連携し、市内企業の協力のもと、小学校では「職業にふれる」機会づくりを、中学校では「職場体験学習」を進めます。	学校教育課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年度は実施できなかった。
	防災教育の推進	・中学生を対象とした普通救命講習会の実施等により防災意識の向上を図ります。	学校教育課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年度は実施できなかった。
		・小中学校ごとに、ハザードマップを作成し、児童生徒、家庭、地域等と協力して、危険箇所の把握や防災教育を行います。	学校教育課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域と連携した取り組みは推進できなかったが、ハザードマップの更新等、防災教育を進めた。
		・市防災担当課と連携し、中学生の防災訓練への参加を促します。	学校教育課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年度は実施できなかった。
		・小学校1年生を対象に警察署の協力を得ながら防犯教室を行います。	学校教育課	・愛知県警察や、市民活動課と協力し、連れ去り防止教室などの防犯教室を実施した。
		・小学校1年生への防犯ブザーの配布や「かけこみ110番」の場所を児童生徒に周知することにより防犯意識の高揚に努めます。	学校教育課	・小学校1年生に対し、防犯ブザーを配布した。
		・交通安全教育や薬物乱用防止教育など、自らの命を自ら守るよう、子どもたちの危機回避能力の育成を進めます。	学校教育課	・関係各課や守山警察署等と連携し、交通安全教室や薬物乱用教室などを実施し、自らの命の大切さについて啓発した。
	郷土教育の推進	・総合的な学習の時間などで、地域の伝統文化である「棒の手」、「ざい踊り」、「打ちはやし」などの地元の講師による指導を通して、地域の伝統文化を学び、豊かな心を育てます。	学校教育課	・各小中学校の総合的な学習の時間において、地域に根ざした伝統文化を学び、発表する機会を持った。
		・小学校社会科副読本「きょうどあさひ」、中学校社会科副読本「尾張旭」を教科書の改訂に合わせて編集、作成し、郷土の学習に活用します。	学校教育課	・令和元年度に改訂した「きょうどあさひ」と令和2年度に改訂した「尾張旭」を郷土の学習に活用した。
	消費者教育の推進	・消費者の自立を支援するために行われる消費生活に関する教育を推進するとともに、教職員の研修を実施します。	学校教育課	・社会科や家庭科の授業において、実際の生活に即した内容を取り扱い、話し合いを持つことで知識理解を深めた。 ・市内小中学校で税理士を招き租税教室を実施予定。
(3)個に応じたきめ細かな指導の充実	少人数指導授業の充実	・県費教職員の配置を補うため、市費による少人数指導対応非常勤教員を小中学校に配置し、各校で算数や数学などの授業において少人数指導授業を充実させます。	学校教育課	・市費による少人数指導対応非常勤教員を小中学校に配置した。
	特別支援教育の充実	・学校生活指導補助員を各校に配置し、通常学級や特別支援学級に在籍する特別な配慮が必要な児童生徒の学校内での生活や学習を支援します。	学校教育課	・学校運営支援員を各小中学校に配置し、生活支援や学習支援を行った。 ・医療的ケアを必要とする児童に対し、看護師による医療的ケアを実施した。
		・発達障がいに関する専門知識を有する金城学院大学の大学院生等を特別支援教育支援員として各校に派遣します。	学校教育課	・特別支援教育に関する金城学院大学との協定の下、学生を実習生として受け入れるとともに、その後継続して支援をする取組が進められた。
		・特別支援教育支援員による発達障がいについての詳細な観察や記録をもとに、発達障がいについての理解と指導方法の改善を行いその成果を共有します。	学校教育課	・小中学校で作成した「特別支援教育の手引き」を活用し、児童生徒の指導に役立てた。
		・通級指導教室を通して、特別な支援が必要な児童への個別指導を行います。	学校教育課	・特別な支援が必要な児童について、通級指導教室において個別指導を行い、適切な指導を行った。

(3)個に応じたきめ細かな指導の充実	特別支援教育の充実	・特別な配慮が必要な児童生徒が、一人一人の障がいの状況に応じた教育が受けられるよう、瀬戸特別支援学校に通学する児童生徒数等に応じ、財政的な負担を行います。	学校教育課	・特別な配慮が必要な児童生徒が、一人一人の障がいの状況に応じた教育が受けられるよう、瀬戸特別支援学校に通学する児童生徒数等に応じ、財政的な負担を行った。
		・個に応じた適切な支援を行うために、こどもの発達センターと連携します。	学校教育課	・個に応じた適切な支援や就学ができるよう、こどもの発達センターと連携し、教育相談や体験入学等を行った。
(4)特色ある学校づくりの推進	地域と連携した独自の学校運営	・各学校で地域の実態や特性を把握し、地域の伝統文化を学ぶなど地域との連携を図り、創意工夫を活かし、特色ある学校づくりに取り組みます。	学校教育課	・各小中学校の学校施設や地域の人材を生かして、ビオトープの整備をしたり伝統文化を学ぶ授業を実施したりし、特色ある学校づくりを進めた。
		・各学校は、日ごろの教育活動の成果と課題、児童生徒の様子などをもとに学校の将来像を描き、その実現に向けての課題等を整理し、取り組むべきことを明確に表現したグランドデザインを作成します。	学校教育課	・各校のグランドデザインによる特色ある学校づくりを進めた。
		・開かれた学校を目指し、学校公開の状況、学校のグランドデザイン、学校の教育目標や指導方針など、学校の情報を積極的にホームページや学校だよりを通して発信します。	学校教育課	・学校のグランドデザイン、学校の教育目標や指導方針など、学校の情報を積極的にホームページ更新により情報発信に努めた。
	地域と連携した独自の学校運営	・PTAと連携し、地域や保護者の力を学校運営に生かします。	学校教育課	・地域の人たちと話し合う場をもち、話し合いによって出されたアイデアを取り入れたボランティア活動、伝統文化や郷土の歴史を未来に継承する取り組み、まちづくりや地域の行事と一緒に進める取り組み等の交流体験活動、学校が地域の中で生かされるような創意工夫のある活動を行った。
(5)教職員の資質向上	教職員研修の充実	・様々な教育課題に対し、その克服や改善を図るため、教育の各分野の優れた指導者を講師に招へいた研修を行い、教職員の資質の向上を図ります。	学校教育課	・教員の指導力向上のため、各校の必要に応じた専門家等を講師として招へいし、年間を通じて指導を受けた。
		・教育フォーラムの開催、各種研修の実施、教育論文の募集事業などを通して、教職員の資質向上を図ります。	学校教育課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から教育フォーラムの実施はできなかったが、教員のキャリアに応じた各種研修は実施した。
		・教員を退職した者などを教育研究室研究員に委嘱し、豊富な経験をもとに、教育研究の指導をはじめ、保護者や教職員への相談活動や学校支援ボランティアのコーディネートなど、学校を取り巻く様々な課題に対応します。	学校教育課	・教育研究室研究員が、現職教員が行う教育研究の指導を行った。 ・保護者や教職員への相談活動を実施したり学校支援ボランティアを学校の需要に応じて割り振ったりして、学校の教育活動を支援した。
	教員の負担軽減	・長期休業中に学校閉校日を設け、教員の夏季休暇や年次休暇の取得を推進し、心身の健康増進など教員の負担軽減を図ります。 ・長時間労働の是正に向けて、教員の出勤時間記録の電子化について研究を深め、教員による記録や集計事務の負担軽減を図ります。	学校教育課 学校教育課	・夏季休業日・冬季休業日ともに学校閉校日を設け、教員の休暇取得を促進した。 ・タイムカードを活用し、教員の出勤時間記録を客観的に把握するとともに、教員による記録や集計事務の負担軽減を図った。
(6)教育環境の整備	学校施設の環境整備	・経年により老朽化した学校施設の損耗、機能低下の改善を図るため、大規模改造工事を軸に、施設の長寿命化、質的な向上を推進します。	教育政策課	・西中学校トイレ改修工事(1期)を実施した。 ・多目的トイレ整備工事を実施した。 ・本地原小学校及び旭丘小学校エレベーター改修工事を実施した。
		・今後の児童生徒数の推移を適切に把握し、地域と連携した学校施設の有効利用を図るなど、今後の施設のあり方を検討します。	教育政策課	・旭小学校及び西中学校において、必要となる教室の増築工事を実施した。
	ICT化への対応	・コンピュータ端末等、児童生徒及び教職員の必要とする機器について、導入の方針を策定し、計画的に整備を図ります。 ・情報管理を徹底するとともに、人為的な過誤や悪質な侵入等を防ぎ、児童生徒及び教職員が安全に情報機器を使用できるよう、ネットワークの整備をはじめとした対応を行います。	学校教育課 学校教育課	・児童生徒用ICT機器、教員用タブレット機器等、教育用ICT機器の継続的な借上げを行った。 ・情報セキュリティネットワークを尾張旭市教育委員会セキュリティポリシーに則り、運用を行った。 ・ファイルサーバーのランサムウェア感染の対応を行った。
	通学路の危険箇所への対応	・尾張旭市通学路交通安全プログラムに基づき、継続的に通学路の安全を確保するため、毎年小中学校の通学路状況を把握し、通学路安全点検を実施して、通学路安全対策の検討・実施・効果把握・改善及び充実を図ります。 ・児童生徒が安全に登下校できるように、防犯や防災などの観点からも危険がある箇所を的確に把握し、その改善を図ります。	学校教育課 学校教育課	・通学路の危険箇所について、道路管理者、警察など関係部署と合同点検を行い改善を行った。 ・各小中学校が通学路の危険箇所を示した「安心安全マップ」を作成し、児童生徒に周知し、指導した。

基本施策3 総合的な教育連携の推進

基本事業	個別事業	概要	担当課	令和3年度状況
(1)家庭教育力の充実	家庭教育学級の推進	・家庭教育のあり方について考えを見直す機会を設け、家庭内だけでは解決しにくい問題に対して相互に助け合うことができるよう、「家庭教育学級」を開設し、家庭教育に関する学習を計画的、継続的かつ集団的に行います。	生涯学習課	・市内9小学校区で家庭教育学級を開設。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各学級とも開催回数を減らして実施した。
		・各学級単位で自ら企画した家庭教育に関する講演、実習などを開催するとともに、各学級の代表者による連絡会などを通して、学級間の情報交換等を行います。	生涯学習課	・代表者連絡会は、コロナの影響により参加人数を減らしたり、書面開催で行った。 ・昨年度に引き続き、PTAから要望のあった合同学級「オンラインで学ぶ！ みんなのネットモラル塾」を開催した。
	思春期家庭教育学級の推進	・思春期の子を持つ親に対し、思春期の特徴や子どもの心と体の変化を学習する機会と家庭での教育のあり方を考えてもらうため、大学教授等専門家による講座を開催します。	生涯学習課	・前・後期各4回の講座を実施した。 ・前期は託児を実施、後期は託児を中止し、対面とオンラインのハイブリット方式で実施した。
	子育て支援の充実	・育児やしつけ、養育、非行など家庭内での子育てに関する相談を行う「こども・子育て相談」をさらに周知し、充実を図ります。	子育て相談課	・18歳までの子どもに関する総合相談窓口として「こども・子育て相談」を開設し、新型コロナウイルス感染症等における家庭での困り感や不安の軽減、問題解決に努めた。 ・関係機関と連携して対応するとともに、窓口や電話対応のPRに努めた。
		・子育て家庭の孤立を防ぎ育児不安の解消や子育て力向上の支援を行うため、子育て支援センター事業として、子育てサロン、子育て相談、子育て関連情報の提供、子育て講座等を実施します。	子育て相談課	・子育て中の方の相談や憩いの場として、また、保護者同士の交流の場として、市内7箇所子育て支援センターを開設し、子育てサロンの実施や講座を開催。新型コロナウイルス感染症の影響下では、感染防止策の徹底と子育ての孤立を防ぐために、広報やあさちゃんによるPR強化やオンライン講座の開催等に努めた。
		・市民相互により子育てを応援するファミリーサポートセンターの充実を図ります。	子育て相談課	・支援を必要とする子育て家庭がサポートを受けられるよう、相互扶助組織であるファミリーサポートセンターを運営。新型コロナウイルス感染症の影響下で託児を伴う登録説明会の開催が困難なため、個別登録や同室託児による登録説明会開催等に努めた。また、コロナ禍を含む、危機管理体制の見直しを行った。
		・こどもの発達センターにおいて、子どもの発達に関する専門相談、個別支援手帳の配布、親子支援教室の開催、研修等を実施します。	子育て相談課	・18歳までの子どもの発達に関する支援として、「こどもの発達センター」を運営し、医師等による専門相談、親子支援教室や研修、就園相談会等を実施した。 ・関係課との勉強会や関係機関への訪問等、こどもの発達センターと関係先での連携を図った。
		・尾張旭市子ども・子育て支援事業計画に基づき、こども・子育てに関する施策の充実に取り組みます。	こども未来課	計画に基づき、各種施策を推進、進捗管理を実施。 【2期計画掲載指標のR2実績値】 第2期計画掲載の135指標中、53指標が目標達成、38指標が順調に推移。
	(2)地域教育力の充実	・PTAや地域の方々による環境整備や読み聞かせ、授業の補助、ゲストティーチャーなど、多種多様なボランティア活動を活用し、教育活動の質の向上を図ります。	学校教育課	・PTAや地域の方々による環境整備や読み聞かせ、授業の補助、ゲストティーチャーなど、多種多様なボランティア活動を活用し、教育活動の質の向上を図った。
		・学校支援ボランティア登録制度により、教職員OBなど様々な知識や能力を有する人材を各小中学校に派遣します。	学校教育課	・学校支援ボランティア登録制度により、学校へ人材を派遣した。
		・様々なことを体験的に学ぶ機会として、地域の力を活用したホリデースクールや夏季教室などの実施を検討します。	学校教育課	・地域連携推進事業で、地域人材を活用した講座など感染状況に応じて可能な範囲で行い、子どもたちが体験的に学んだ。
		・放課後児童健全育成を行うため公設児童クラブの運営の充実と民間学童クラブへの支援を行うとともに、各小学校区の放課後児童の状況に応じた運営方法等について検討します。	こども課	・民間学童クラブの運営支援を行った。 ・放課後の子どもの居場所づくり事業として児童館ランドセル来館事業の試行を経て、本格稼働とした。
(2)地域教育力の充実	児童館活動の充実	・「健全な遊びを通じた援助」、「子育て家庭の支援」、「地域ぐるみで子育て活動の推進」の基本方針に基づき、子どもを取り巻く環境の変化に対応した児童館活動の充実を図ります。	こども課	・幼児親子を対象とした「子育てひろば」や小中学生を対象とした各種行事について、感染症対策を施したうえで実施し、児童館活動の充実を図った。

(2)地域教育力の充実	児童館活動の充実	・みらい子育てネットを始めとする各種ボランティア団体や近隣の高等学校や大学の協力を得て、「こどもまつり」や「もちつき会」等の地域交流事業の充実を図ります。	こども課	・「こどもまつり」は、感染症拡大防止対策として規模を縮小した「じどうかんフェス」に改め、みらい子育てネット共催にて、12月に初めて実施。3月にも実施予定。 ・6・9月に実施予定であった「児童館対抗大会」、「じどうかんフェス」は緊急事態措置期間であったため中止。「もちつき会」は飲食を伴うため、実施しないこととした。
	青少年の健全育成活動の推進	・子どもたちを見守り、育てる取り組みを自主的に行っている団体の活動を広く市民に知らせます。	学校教育課	・「地域のおじさんおばさん運動」を実施し、取り組みについてホームページで紹介した。
		・「中学生の居場所づくり」、「中学生との関わりを持つこと」を目標とした事業を実施し、中学生同士及び地域の大人との交流事業の充実を図ります。	学校教育課 少年センター	【学校教育課】 ・尾張旭市青少年健全育成推進大会を実施した。 ・中学生フェスティバルが開催され、中学生同士及び地域の大人との交流、ダンス、演奏など舞台発表を行った。 【少年センター】 ・文化・芸術的な活動を通して市内中学生同士の交流を図るとともに、地域のかたと中学生がふれあう機会とするため、中学生フェスティバルを開催した。
	青少年の健全育成活動の推進	・標語やポスターの表彰、身近な問題をテーマとした意見発表や、学校、地域から推薦された善行青少年の表彰を行い、青少年の健全育成と非行防止の事業の充実を図ります。	学校教育課 少年センター	【学校教育課】 ・ポスター、意見発表の作文募集を行い、健全育成活動を推進した。 ・青少年健全育成推進大会に向け、善行青少年、健全育成ポスター、僕の意見私の考え表彰選考等を実施した。 【少年センター】 ・青少年の健全育成を推進するため、健全育成をテーマとするポスターと意見作文の募集、学校や地域に善行青少年の推薦依頼を行った。 ・青少年健全育成推進大会に向け、善行青少年、健全育成ポスター、僕の意見私の考え表彰選考等を実施した。
(3)学校・家庭・地域の連携	幼稚園・保育園と小学校との連携	・小学校就学後の継続的な指導のため、幼稚園・保育園より小学校に送付される「幼稚園幼児指導要録」及び「保育所児童保育要録」を、子どもの育ちを支え、子どもの理解を助けるものとして活用します。	学校教育課	・幼稚園・保育園からの要録を新就学児の理解のための資料として活用した。
	認定こども園に関する情報提供	・幼稚園に対して、幼稚園と保育所の機能をあわせ持つ「認定こども園」に関する情報提供を行います。	保育課	・市内幼稚園に情報を提供しているが、具体的な移行を検討している園は無い。
	地域に根差した学校づくり	・学校が市民祭など市のイベントや地域の行事などに積極的に係わることで、児童生徒が、社会の一員であることの自覚を促すとともに、意識の向上を図ります。	学校教育課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市民祭は中止となり実施できなかったが、地域の行事は積極的に係わった。
		・保護者やスクールガード、少年センター、警察等と協力して見守り活動を実施し、児童生徒の登下校時の交通安全・防犯上の安全確保を行います。	学校教育課	・保護者やスクールガード、少年センター、警察等と協力して見守り活動を実施し、児童生徒の登下校時の交通安全・防犯上の安全確保を行った。
		・学校敷地内の環境整備や図書館整理など地域ボランティアの協力のもと学校運営の充実を図ります。	学校教育課	・学校だより等を通して、保護者や地域の方の協力を依頼し、花壇や図書館の整備、絵本の読み聞かせなどを実施した。
		・学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる地域学校支援推進事業を、各小学校区で「あさひスマイルコミュニティ」として実施します。	学校教育課	・地域学校支援推進事業を全小学校区で実施し、地域との連携を進め、地域の教育力を学校運営に活用するとともに、児童が地域活動を推進する取り組みを感染状況に応じて可能な範囲で行った。
	旭野高等学校との連携	・地域の中で開催される市イベントへの関わりや、市立保育園や児童館における活動において、旭野高等学校との連携を深めます。	こども課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小したイベントの実施であったため、連携は未実施。今後の連携方法について検討する。
	金城学院大学との連携	・金城学院大学と特別支援教育に関する協定を締結し、大学院生を特別教育支援員として各小中学校に派遣し、児童・生徒の支援を行います。	学校教育課	・金城学院大学の大学院生を、各小学校で実習生として受け入れ、特別な支援を要する児童に対し継続的に支援や観察を行い、指導に役立てた。
	名古屋産業大学・名古屋経営短期大学との連携	・環境学習講座などの取り組みの実績を踏まえ、両大学の教授陣の専門知識を生かした生涯学習・公開講座等の企画、運営のさらなる充実を図ります。	生涯学習課	・名古屋経営短期大学講師に成人大学（世界旅行教養）の講師を依頼、6回講座を実施した。
		・地域活動の場を提供する市事業への大学生の参加について、さらなる充実を図ります。	生涯学習課	・名古屋経営短期大学生がスカイワードあさひ星の会会員として、星空教室や夜間天体観測会等で活動した。

(3)学校・家庭・地域の連携	名古屋産業大学・名古屋経営短期大学との連携	・図書館施設の開放による相互利用の促進を図ります。	図書館	・名古屋産業大学の准教授に図書館協議会の委員をお願いし、情報共有に努めた。
		・各課等で実施する事業での、両大学と連携した取り組みの検討を行います。	生涯学習課 図書館	【生涯学習課】 ・名古屋産業大学に社会教育委員の推薦を依頼し、同大准教授を委員に委嘱した。 【図書館】 ・名古屋産業大学生のインターンシップ受入れ ※今年度は希望者なし
	愛知県立大学及び岐阜聖徳学園大学との連携	・愛知県立大学と連携し、教育活動の支援を行うボランティア学生又はインターンシップの受け入れを行うことにより、本市の教育活動の活性化を図ります。	学校教育課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年度は実施できなかった。
		・岐阜聖徳学園大学と連携し、小中学校教職員に対する資質向上研修を実施するほか、本市の教育の充実を図ります。	学校教育課	・岐阜聖徳学園大学と連携し、小中学校教職員に対する資質向上研修を実施した。
(4)就園・就学の支援	私立幼稚園の振興	・国の動向を注視しつつ、私立幼稚園の設置者が、当該幼稚園に在園し市内に住所を有する園児の保護者に対し授業料等を減免する場合に補助を行います。	保育課	・令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化開始に伴い、幼稚園就園奨励費補助事業が終了。幼稚園通園児の授業料等の保護者負担は無償化(上限有)されている。
		・尾張旭市内で私立幼稚園を開園している設置者に対し、子どもたちの健全育成に資する事業を実施する場合に、補助を行います。	保育課	・市内私立幼稚園4園に対し、幼稚園振興事業費補助金の交付決定を行い、補助金を交付した。
	就学援助の推進	・経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対し、学用品、校外活動費などの就学に必要な費用を援助します。	学校教育課	・就学援助費の認定を行い、支給した。 ・新入学学用品費の前倒し支給について、保護者への周知を積極的に行った。
		・特別支援学級に就学する児童生徒に対し、学用品、校外活動費などの就学に必要な費用を援助します。	学校教育課	・特別支援教育就学奨励費の認定を行い、支給した。
	子育て家庭の支援	・子育てを行っている世帯の生活安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するよう、国・県の動向に合わせ、児童手当、児童扶養手当、遺児手当、遺児就学手当、特別児童扶養手当、母子父子家庭等自立支援給付金の支給を行います。	こども課	・各種手当及び新型コロナウイルス感染拡大等に伴う国や市単独給付金を支給し、子育て世帯への支援を行った。
	私立学校へ通う児童生徒を持つ保護者等の支援	・私立学校へ通う児童生徒を持つ保護者等に対して助成を行うことにより、教育に係る経済的負担の軽減を図ります。	教育政策課	・私立学校修学支援事業補助金の交付決定を行い、支給した。

基本施策4 豊かな人生を彩る生涯学習の振興

基本事業	個別事業	概要	担当課	令和3年度状況
(1)生涯学習活動の参加促進	学習機会の提供	・市民の多様な学習意欲に応じるため多種多様な講座を開催します。	生涯学習課	・大学教授等を講師に迎え「成人大学講座(漢字・歴史・経済・世界旅行・美術)」や公募講師による「市民塾」、さらには選任講師による「外国語講座」など市民の教養を深める多種多様な講座を開催した。
		・高齢者が、健康で生き生きとした人生を送り、時代に合った課題にも対応できるよう学習メニューを検討します。	生涯学習課	・市内在住の60歳以上の方を対象とした「高齢者教室長寿学園」で、健康・音楽等の講話や健康体操クラブ、はがき絵クラブ・チャレンジクラブを開催するとともに、長寿課と連携し介護予防事業の一環としてオープンキャンパス「コグニサイズで長寿を目指そう」の講座を実施した。
		・専門の講師から教わるだけの講座から、受講生が講座終了後も研鑽を重ね、学んだことを講師としてほかの人にも教えたり、ボランティアとして講座の企画、運営にも参画したりするなど、社会還元型のシステムづくりを推進します。	生涯学習課	・教える生きがいと学ぶ喜びを講師・受講生双方が感じられる、公募講師による「市民塾あさびーなび」を開催した。終了後の自主グループ化を推進するためのチラシを作成するなど、職員が積極的に支援した。
		・地域のニーズに応じた講座の開催に努め、地元住民を講師に積極的に活用するなど、地域で求められる事業の展開を図ります。	生涯学習課	・地域に密着した活動を目指して、季節に合わせた内容等を工夫して「地域ふれあい講座」を各地区公民館において開催した。今年度も引き続き、親子で参加できるような講座を多数企画し、講師を依頼した。
(2)生涯学習情報の提供	学習情報の提供	・市民によりわかりやすく生涯学習情報を提供するため、市や各種団体主催の教室・講座・イベント等の情報を一元化し、情報提供を行います。	生涯学習課	・生涯学習講座一覧を前期・後期に分けて作成し、市内施設に設置した。 ・生涯学習団体リストの内容を、ポスター事業として見直した。
		・民間施設や大学等が行っている生涯学習情報を収集し、必要な方に必要な情報を提供できるようにします。	生涯学習課	・名古屋経営短期大学の公開講座を生涯学習講座一覧に掲載、市内施設に設置したほか、ホームページで情報提供を行った。

(2)生涯学習情報の提供	学習情報の提供	・地区公民館ごとに、事業内容やサークル紹介、地域行事などを地域に周知、紹介ができるよう、情報提供を行います。	生涯学習課	・市民のサークル活動や生涯学習イベント等の情報交換の場として、公民館の掲示板を活用した。 ・地区公民館等の講座のチラシや公民館だよりを自治会の回覧板で回覧しPRした。 ・例年地区公民館作品展で活動をPRしてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。 ・あさひ健康フェスタの一環として、イトーヨーカドーで、地区公民館の活動のPRを行った。
	相談体制の整備	・生涯学習を始めるきっかけづくりや学習活動を促進するため、学びを求める人や提供したい人に学習情報、指導者、学習グループの紹介などの相談を行います。	生涯学習課	上記の学習情報等を活用し、対面や電話、メールなどで学びの相談に応じた。
(3)生涯学習施設の利用促進	地域に開かれた公民館を目指す事業の展開	・地区公民館職員を校区担当職員として併任し、自治会をはじめとする各種地域団体に積極的に関わることで、地域の状況や課題などの把握に努めるとともに、地域づくりのアドバイザーとして、地域組織の支援や地域との関係づくりに努めます。	生涯学習課	・地区公民館等9館に市民活動課職員との併任辞令を受けた公民館主事が配置され、連合自治会等の会議にも出席し、行政と地域のパイプ役を担っている。 ・公民館主事が地域の行事や課題に積極的に関わり、市民とともに地域づくりを行った。
	地域に開かれた公民館を目指す事業の展開	・人づくり・まちづくりの場である公民館では、地域住民の経験やキャリアを積極的に活用し、ともに学び、ともに教えながら住民が一体となって、地域の活性化を図るよう、施設の活用を促進します。	生涯学習課	・地区公民館に配置された公民館主事が、地域の自治会や公民館利用者と積極的にコミュニケーションをとり、地域に根ざした公民館となるよう活動している。
	安心・快適な利用ができる施設づくり	・施設利用者が安心して、快適に使えるよう、常日頃から施設の状況確認に努めるとともに、長期的な施設修繕計画に基づき、計画的、かつ効率的な施設の改修を実施します。また、利用者からの声に耳を傾け、より使いやすい施設への改善に努めます。	生涯学習課	- 安全、快適に施設が利用できるよう工事、修繕を行った。 ・中央公民館非常用自家発電機改修工事 ・本地原公民館空調設備改修工事 - 中央公民館及び地区公民館高速通信ネットワーク整備工事など
		・スカイワードあさひ天体観測室の望遠鏡をはじめ、生涯学習施設に必要な備品の更新を行います。	生涯学習課	・安心・快適に利用できるよう50cm天体望遠鏡や天体観測ドームの保守点検を計画、実施しているほか、必要な修繕を行った。
(4)読書環境の整備	資料の提供	・図書、逐次刊行物、視聴覚資料及びデータベース等の資料を適切に選定し、かつ計画的に受け入れます。	図書館	・図書、逐次刊行物、視聴覚資料及びデータベース等の資料を適切に選定し、計画的に受け入れた。 ・選定については利用者の要望を取り入れたり、利用状況等を勘案している。
		・利用者の調査、研究の支援及び読書相談等のレファレンスサービスを適切に行うことができるよう職員の育成を行います。	図書館	・レファレンス事例を職員間で共有し、サービスの向上を図っている。
		・朝見武彦文庫として整備を進めてきた健康に関する資料の適切な管理を行います。	図書館	・健康に関する図書等の収集整備を継続し、特集コーナーの設置や貸出しに努めた。
		・愛知医科大学及び近隣3市(瀬戸市、日進市、長久手市)と連携し、医学・健康情報の発信に努めます。	図書館	・病気に関する調べ方ガイドの作成や特集コーナーの設置等、情報発信に努めた。
	読書の奨励	・子ども読書活動推進計画に基づき、幼い頃から読書に親しむため、読み聞かせ等の活動を推進します。	図書館	・小中学校へ、調べ学習支援を行った。 ・調べ学習支援図書の配送を継続試行。 ・小学校図書館訪問を行い、情報・意見交換を行った。 ・小学生の図書館見学の受入れを行った。 ・小学校で職員による出前講座を行った。 ・市内読み聞かせグループなどの団体に大型紙芝居やパネルシアターなどを貸し出すなど、活動支援を行った。 ・市内の中学・高校と連携して、おすすめ本のポップ作成を行った。
		・読書の奨励と図書館の利用促進を図るため、特集コーナーの設置や各種催し物を開催します。	図書館	・特集コーナーの設置、各種おはなし会のほか、読書週間等にちなんだ事業等の開催や読書通帳の配布を行い、読書の奨励及び図書館の利用促進に努めた。 ・読書通帳の50冊到達者を表彰した。 ・市制50周年及び図書館開館40周年を記念して各種読書奨励事業を行った。
	図書館施設の充実・整備	・市民にとって必要かつ十分な資料提供ができるよう、書架の配置、スペースの有効利用に努めます。	図書館	・書棚の代りに閲覧用ベンチを活用するなどして新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。 ・閉架書架の整理を行い、スペースの有効活用を努めた。

(4)読書環境の整備	図書館施設の充実・整備	・快適に館内にて過ごせるよう施設の維持、整備に努めます。	図書館	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、図書館換気設備改修工事を行い、換気の効率を向上させた。 ・新型コロナウイルスの感染拡大のリスクを軽減させるため、和式大便器を蓋付きの洋式大便器に変更した。
		・駐車場や配架スペースなど図書館に関する様々な課題があり、その他運営の面も含めて、今後の図書館施設のあり方について検討します。	図書館	・新メンバーによる庁内の図書館のあり方検討会を設置して、今後の図書館の将来の方向性や目指す姿について検討を行った。

基本施策5 心の豊かさを感じる文化の継承と振興

基本事業	個別事業	概要	担当課	令和3年度状況
(1)文化財、伝統文化の保存と継承	無形民俗文化財の継承	・市指定の無形民俗文化財を保護するとともに後継者の育成を行うため、保存会の指導、支援を行います。	文化スポーツ課	・市、県指定無形民俗文化財の保存会活動に1,069人が参加した。 ・市制50周年記念警固については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から市民祭が再度中止となったことに伴い再度中止となった。 ・市、県指定無形民俗文化財のこども向けチラシを企画展や保存会の活動時に配布し、文化財の周知に努めた。
	伝統文化や郷土の歴史の保存と公開	・市内に残る史跡や文化財、市民から寄贈された民具や市内から発掘された貴重な埋蔵文化財など歴史的に価値のある資料等に対する保護意識の高揚を図ります。	文化スポーツ課	・春の史跡めぐりは新型コロナウイルス感染症拡大により中止となったため、参加者に資料を送付した。 ・史跡めぐりを秋2回開催し、39人が参加した。また、子ども向け史跡めぐりを開催し、計18人が参加した。 ・長池のマメナシ・アイナシ観察会を春に開催し、121人が見学した。 ・秋のマメナシ・アイナシ観察会は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とした。 ・市制50周年特別企画展を文化会館で開催した。
		・無形民俗文化財保存団体やボランティア団体の活動、文化財の見学情報等をホームページで公開するなど、伝統文化に触れることのできる機会の創出に努めます。	文化スポーツ課	・市役所で無形民俗文化財を紹介する出張企画展を開催した。 ・市ホームページに無形民俗文化財の見学情報を掲載した。また、過去の警固の様子について紹介するページを新たに掲載した。
		・ホームページ上で、歴史民俗資料などの検索や鑑賞をすることができるデジタルミュージアムの構築を進めます。	文化スポーツ課	・市ホームページに市内の史跡や文化財の普段は見ることのできないもの等の写真を掲載し、自宅でも気軽に閲覧することができるようにした。 ・市ホームページに中止になった春の史跡めぐりの資料を掲載した。 ・市内史跡看板等のQRコードの貼替を行った。また、史跡めぐり募集チラシにQRコードを添付し気軽に申込できるようにした。 ・市ホームページに過去の警固の様子について紹介するページを新たに掲載した。
(2)地域文化活動団体の育成	地域文化活動団体の育成	・地域文化芸術活動の担い手である文化協会の活動に必要な支援を行います。	文化スポーツ課	・尾張旭市文化協会所属団体が持つ知識、技能を活かし、各種講座を開催し、市民の芸術活動の向上に取り組んだ。 ・文化協会の更なる地域文化芸術に対する知識と技能の向上を支援するため、文化協会の各部会が芸術活動を発表する機会を設けた。
(3)芸術文化活動の環境整備	文化活動を行うための場の提供	・市民の文化活動の目標として、日頃の成果を発表し、鑑賞できる「市民文化祭」の充実を図ります。	文化スポーツ課	・市民文化祭のうち、市民展と市民音楽祭を開催し市民に芸術・文化活動の発表する場を設けるとともに、鑑賞する機会を提供した。市民展では290点作品申込があり、約4,709人の来場があった。市民音楽祭については、268人の演者と545人の観客が来場した。(どちらも新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら実施)。なお、市民芸術発表大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
		・市民が身近な施設で、気軽に作品を発表、鑑賞できるよう、市内公共施設のギャラリー化を進めます。	文化スポーツ課	・文化会館において市内で活躍する芸術家の展示会を開催した。9月は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から文化会館が利用中止であったためウェブ配信型の展示を実施した。
		・文化会館長期修繕計画に基づき改修を進めるとともに、芸術文化の振興を図るため、拠点施設である文化会館の活性化に努めます。	文化スポーツ課	・指定管理者の自主文化事業として10事業を実施し、約4,000人の来場者があった。また、地元で活動する音楽家によるロビーコンサートの実施など地元芸術家の発表の場として寄与した。

(3)芸術文化活動の環境整備	指定管理者制度の活用	・文化会館の管理・運営に指定管理者制度を活用してきた経験を生かし、必要な改善を図りながら、引き続き指定管理者制度を活用し、より効率的でより質の高いサービス提供を行います。	文化スポーツ課	・月1回コミュニケーション会議を行い、効率的でより質の高いサービスの提供に努めた。 ・中学校の吹奏楽部や箏曲部、一般参加の幼児や小中学生による演奏会や無形民俗文化財の各保存会による伝統芸能の発表会などを開催し、地元音楽家の育成や伝統文化の継承に寄与した。
	文化会館の適切な維持管理	・利用者が安心して快適に施設を使うことができるよう、適切な施設の維持管理に努めます。	文化スポーツ課	・長期修繕計画に基づき、文化会館の適切な管理を実施した。
		・計画的に文化会館の改修を行うとともに、緊急的な不具合が発生した場合は、施設の利用に不都合がないよう対応します。	文化スポーツ課	・修繕の必要な箇所等の状況などを指定管理者とコミュニケーション会議を行い、適切な修繕を実施した。

基本施策6 健やかな人生を拓くスポーツの振興

基本事業	個別事業	概要	担当課	令和3年度状況
(1)スポーツ活動の参加促進	レクリエーション、ニュースポーツの普及	・スポーツを行うきっかけをつくるため、ニュースポーツ体験会、ウォーキング大会等を開催します。 ・スポーツ推進委員を各種団体へ派遣し、スポーツの実技の指導等を行います。	文化スポーツ課	・各小学校でのニュースポーツ体験会に71人が参加した。また、新型コロナウイルス感染症の影響によりシニア向けのニュースポーツ体験会を中止した。
	市民体育大会の開催	・より充実した体育大会を開催するため、大会の運営をスポーツ団体である尾張旭市スポーツ協会に委託します。	文化スポーツ課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から第68回市民体育大会は総合開会式及び一部の種目を中止。18種目を開催し、3,338人が参加した。 ・第40回市民ゴルフ大会は中止 ・第36回市民ジョギング大会は開催内容を変更して実施。
	健康づくり事業の継続	・ウォーキングや、ラジオ体操等、市民が健康づくりを始めるきっかけをつくり、日常的に、気軽にスポーツにふれあう事業を行います。	文化スポーツ課	・7月31日にラジオ体操講習会を行い、13人が参加した。 ・11月27日にあさひ軽々々ウォーキングを実施し、95人が参加した。
	体育協会への継続的な支援	・競技力向上、健全なアマチュアスポーツの普及を図るためにスポーツ協会が実施する事業に対し補助を行い、だれでも気軽にスポーツに親しむことのできる環境づくりを目指します。 ・スポーツ協会へ指導者の育成を委託し、指導者の確保を進めます。	文化スポーツ課	・スポーツ協会加盟団体全20団体に対し、補助金を交付し、各団体の事業支援を行った。 ・スポーツ協会協会加盟団体である、軟式野球連盟等18団体に対し、指導者育成事業への助成を行った。
(2)スポーツ団体・指導者の育成	総合型地域スポーツクラブの充実	・地域住民が身近にスポーツ活動ができるよう総合型地域スポーツクラブの自主的・主体的な事業運営の定着に向けてPR活動や活動場所の確保などの支援を行います。 ・総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブあさひー」の事業運営に係る支援を行います。	文化スポーツ課	・10月に市内小学校全児童に会員募集のチラシを配信し、クラブ加入を促した。 ・令和3年11月末時点の会員数は150人で、前年同時期より16人減少した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により活動休止となる期間が生じた中でも事務局と講師が連携を密にとり、10種類の講座を円滑に開催するなど、事務局の支援等により適切な事業運営を行った。
	学校体育施設の開放の継続	・体育施設の不足を補う事業として、学校体育施設の空き時間帯を利用した、一般利用者への貸し出し業務を引き続き行います。	文化スポーツ課	・小学校体育施設で延べ48,321人、中学校体育施設で延べ16,151人の利用があった。
(3)スポーツ活動の環境整備	指定管理者制度の活用	・体育施設の管理・運営に指定管理者制度を活用してきた経験を生かし、必要な改善を図りながら、引き続き指定管理者制度を活用し、より効率的でより質の高いサービスの提供を行います。	文化スポーツ課	・引き続き指定管理者制度を活用し、より効率的でより質の高いサービスの提供、各種スポーツ教室等を開催し、市民スポーツの充実を図った。
	体育施設の適切な維持管理	・体育施設以外で運動施設を有している、東部市民センターなどとの連携を図り、当該施設のスポーツ活動の情報を提供します。	文化スポーツ課	・指定管理者のネットワークを活かし、他施設との情報提供やイベント時のスタッフの連携支援を行った。
		・利用者が安心して快適に施設を使うことができるよう、適切な施設の維持管理に努めるとともに、今後の施設のあり方について検討します。	文化スポーツ課	・定期的に施設の状況を確認し、利用者が安全で快適に利用できるよう、感染症対策や熱中症対策など必要な措置に努めた。
		・緊急的な不具合が発生した場合は、施設の利用に不都合がないよう対応します。	文化スポーツ課	・緊急的な不具合発生の際は迅速に対応し、利用に不都合がないよう努めた。

第 2 号議案

尾張旭市文化財保護審議会委員の委嘱について

下記の者を尾張旭市文化財保護審議会委員に委嘱するため、尾張旭市教育委員会事務委任規則（昭和 5 5 年教育委員会規則第 6 号）第 3 条第 1 項第 7 号の規定に基づき、付議するものとする。

令和 4 年 1 月 2 6 日提出

尾張旭市教育委員会

教育長 河 村 晋

記

氏 名	年 齢	住 所	所属団体等	新任・再任 の別
桐原 千文	6 6 歳	尾張旭市平子町東 7 1 番地	元名古屋市蓬左文庫 文庫長	再任
奥野 絵美	4 0 歳	犬山市大字犬山字東畑 3 6 番 1	財団法人岩田洗心館 学芸員	再任
岡本 直久	6 1 歳	名古屋市中村区深川町 3 - 7 9 - 2	公益財団法人瀬戸市 文化振興財団 埋蔵 文化財センター 所長	新任

任期 令和 4 年 2 月 1 日から令和 6 年 1 月 3 1 日まで

提案理由

この案を提出するのは、令和 4 年 1 月 3 1 日で任期満了となる尾張旭市文化財保護審議会委員に上記の者を委嘱するため必要があるからである。

尾張旭市文化財保護審議会委員名簿

(任期 令和2年2月1日から令和4年1月31日まで)

氏 名	年 齢	住 所	所属団体等
桐 原 千 文	66歳	尾張旭市平子町東71番地	元名古屋市蓬左文庫 文庫長
林 宏	74歳	尾張旭市旭ヶ丘町旭ヶ丘5668番地32	元愛知淑徳高校教諭 ふるさとガイド旭会員
奥 野 絵 美	40歳	犬山市大字犬山字東畑36番1	財団法人岩田洗心館 学芸員

(任期 令和3年6月1日から令和5年5月31日まで)

氏 名	年 齢	住 所	所属団体等
斎 場 和 志	73歳	尾張旭市東山町二丁目13番地3	元城山小学校長

